

館山市新学校給食センター建設工事 ガスバルクタンク設備

番 号	図 面 名 称	番 号	図 面 名 称
(意匠図)	表紙・図面リスト	(機械設備図)	
A-001	ガスバルクタンク設備 特記仕様書(1)	G-001	ガスバルクタンク設備 特記仕様書-1
A-002	ガスバルクタンク設備 特記仕様書(2)	G-002	ガスバルクタンク設備 特記仕様書-2
A-003	ガスバルクタンク設備 特記仕様書(3)	G-003	ガスバルクタンク設備 凡例
A-004	ガスバルクタンク設備 特記仕様書(4)	G-004	ガスバルクタンク設備 1階平面図
A-005	ガスバルクタンク設備 特記仕様書(5)	G-005	ガスバルクタンク設備 2階平面図
A-006	ガスバルクタンク設備 特記仕様書(6)	G-006	ガスバルクタンク設備 バルクタンク廻り詳細図
A-007	ガスバルクタンク設備 特記仕様書(7)	G-007	ガスバルクタンク設備 発電機設備図
A-008	ガスバルクタンク設備 構造設計特記仕様書(1)		
A-009	ガスバルクタンク設備 構造設計特記仕様書(2)		
A-010	ガスバルクタンク設備 工事区分表		
A-011	ガスバルクタンク設備 配置図・案内図・計画概要		
A-012	ガスバルクタンク設備 敷地求積図・敷地面積算定表		
A-013	ガスバルクタンク設備 外構平面図		
A-014	ガスバルクタンク設備 外構詳細図		

平成29年度
館山市
株式会社 楠山設計

<p>特記仕様書</p> <p>I 工事概要</p> <p>1. 工事場所 <u>地名地番：千葉県館山市北条字城ノ越420番1の一部・字城ノ越420番5の一部・字城地456番1の一部</u> <u>住居表示：千葉県館山市北条420番地の1地先</u></p> <p>2. 敷地面積 <u>都市計画区域内、第一種住居地域</u> <u>6,141.94 m²</u></p> <p>3. 工事種目 <table border="1"> <tr><td>工事種別</td><td>新築工事</td></tr> <tr><td>構造・階数</td><td>-</td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>- m²</td></tr> <tr><td>延べ面積</td><td>- m²</td></tr> <tr><td>床面積</td><td>- m²</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>最高高さ</td><td>- m</td></tr> <tr><td>最高軒高</td><td>- m</td></tr> <tr><td>基礎</td><td>-</td></tr> <tr><td>耐火・準耐火</td><td>-</td></tr> </table> </p> <p>4. 工事範囲 ※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。</p> <table border="1"> <tr><td>②仮設工事</td><td>工事範囲すべて</td></tr> <tr><td>③土工事</td><td></td></tr> <tr><td>④地業工事</td><td></td></tr> <tr><td>⑤鉄筋工事</td><td></td></tr> <tr><td>⑥コンクリート工事</td><td></td></tr> <tr><td>7 鉄骨工事</td><td></td></tr> <tr><td>8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</td><td></td></tr> <tr><td>9 防水工事</td><td></td></tr> <tr><td>10 石工事</td><td></td></tr> <tr><td>11 タイル工事</td><td></td></tr> <tr><td>12 木工事</td><td></td></tr> <tr><td>13 屋根及びとい工事</td><td></td></tr> <tr><td>14 金属工事</td><td></td></tr> <tr><td>15 左官工事</td><td></td></tr> <tr><td>16 建具工事</td><td></td></tr> <tr><td>17 カーテンウォール工事</td><td></td></tr> <tr><td>18 塗装工事</td><td></td></tr> <tr><td>19 内装工事</td><td></td></tr> <tr><td>20 ユニット及びその他の工事</td><td></td></tr> </table>	工事種別	新築工事	構造・階数	-	建築面積	- m ²	延べ面積	- m ²	床面積	- m ²	最高高さ	- m	最高軒高	- m	基礎	-	耐火・準耐火	-	②仮設工事	工事範囲すべて	③土工事		④地業工事		⑤鉄筋工事		⑥コンクリート工事		7 鉄骨工事		8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事		9 防水工事		10 石工事		11 タイル工事		12 木工事		13 屋根及びとい工事		14 金属工事		15 左官工事		16 建具工事		17 カーテンウォール工事		18 塗装工事		19 内装工事		20 ユニット及びその他の工事		<p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 標準仕様 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）」（以下「標準仕様書」という。）による。</p> <p>2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ / ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ / ）図による。</p> <p>3. 特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と○印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) ☐印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める判断の基準を満たす物品を示す。</p>	<p>⑩ 技能士</p> <table border="1"> <tr><td>適用工事種別</td><td>技能検定作業</td></tr> <tr><td>仮設工事</td><td>○とび作業</td></tr> <tr><td>鉄筋工事</td><td>○鉄筋組立て作業</td></tr> <tr><td>コンクリート工事</td><td>○型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業</td></tr> <tr><td>鉄骨工事</td><td>○構造物鉄工作業 ○とび作業</td></tr> <tr><td>コンクリートブロック</td><td>・コンクリートブロック工事作業</td></tr> <tr><td>○ALCパネル</td><td>○エーエルシーパネル工事作業</td></tr> <tr><td>・押出成形セメント板工事</td><td></td></tr> <tr><td>防水工事</td><td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td></tr> <tr><td>石工事</td><td>・石張り作業</td></tr> <tr><td>タイル工事</td><td>・タイル張り作業</td></tr> <tr><td>木工事</td><td>・大工工事作業</td></tr> <tr><td>屋根及びとい工事</td><td>・内外装板金作業 ・スレート工事作業</td></tr> <tr><td>金属工事</td><td>・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業</td></tr> <tr><td>左官工事</td><td>・左官作業</td></tr> <tr><td>建具工事</td><td>・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業</td></tr> <tr><td>カーテンウォール工事</td><td>・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業</td></tr> <tr><td>塗装工事</td><td>・建築塗装作業</td></tr> <tr><td>内装工事</td><td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業</td></tr> <tr><td>排水工事</td><td>・建築配管作業</td></tr> <tr><td>舗装工事</td><td>・溶融ペイントハンドマーカール工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカール工事作業</td></tr> <tr><td>植栽工事</td><td>・造園工事作業</td></tr> </table> <p>⑪ 化学物質の濃度測定 (1.5.9)</p> <p>(1) 屋内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、測定結果を監督員に報告する。 (2) 測定対象室及び測定箇所は13室（場所は監督員と協議の上決定）。 (3) 測定は、パンプ型採取機器により行う。 (4) 測定方法及び測定結果の報告は、現場説明書による。</p> <p>⑫ 完成時の提出図書 (1.7.1~3) (表1.7.1)</p> <p>※完成図書 提出部数 ※(A3版 原因及び複写図(2部)) ○観音製本A1版1部、A3版3部 ○CADデータ ※提出する ・提出しない ※保全に関する資料 提出部数 ※2部 ○1部</p> <p>⑬ 完成写真</p> <p>工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。作成は「営繕工事写真撮影要領」による。</p> <table border="1"> <tr><td>分類・規格</td><td>撮影箇所数</td><td>提出部数</td><td>画素数・画質等</td></tr> <tr><td>○カラー</td><td>※キャビネ板</td><td>外部(6) 内部(50) ※2 ○2</td><td>※500万画素以上</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外観正面 (※1・) ※5 ○2</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・カラー四切木製パネル</td><td>外部() 内部() ※2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・カラー半切木製パネル</td><td>外部() 内部() ※2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○電子データ</td><td>外部() 内部() ※2 ○2 ※500万画素以上</td></tr> </table> <p>電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式高画像とし、00-Rにて提出する。 ○建築写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する撮影業者 ・任意</p> <p>13 他工事又は他工種との取合い</p> <p>⑭ 設計GL</p> <p>※図示 ・ ()</p> <p>2 仮設工事</p> <p>① 足場その他 (2.2.4)</p> <p>・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>② 監督職員事務所 (2.3.1)</p> <p>※図示 ・ 設けられない 規模及び仕上げの程度は現場説明書による。</p> <p>③ 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償)</p> <p>④ 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償)</p> <p>3 土工事 (3.2.3)</p> <p>① 埋戻し及び盛土</p> <p>埋戻し及び盛土の種類 ・A種 適用場所() ○B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所()</p> <p>② 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>○構外搬出適切処理 ・構内指定場所に堆積 ○構内指定場所に敷均し</p> <p>③ 山留めの存置 (3.3.3)</p> <p>存置範囲(※図示 ・)</p> <p>4 地業工事</p> <p>※構造特記仕様書による</p> <p>5 鉄筋工事</p> <p>※構造特記仕様書による</p>	適用工事種別	技能検定作業	仮設工事	○とび作業	鉄筋工事	○鉄筋組立て作業	コンクリート工事	○型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	○構造物鉄工作業 ○とび作業	コンクリートブロック	・コンクリートブロック工事作業	○ALCパネル	○エーエルシーパネル工事作業	・押出成形セメント板工事		防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業	石工事	・石張り作業	タイル工事	・タイル張り作業	木工事	・大工工事作業	屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業	金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業	左官工事	・左官作業	建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業	塗装工事	・建築塗装作業	内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業	排水工事	・建築配管作業	舗装工事	・溶融ペイントハンドマーカール工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカール工事作業	植栽工事	・造園工事作業	分類・規格	撮影箇所数	提出部数	画素数・画質等	○カラー	※キャビネ板	外部(6) 内部(50) ※2 ○2	※500万画素以上			外観正面 (※1・) ※5 ○2				・カラー四切木製パネル	外部() 内部() ※2			・カラー半切木製パネル	外部() 内部() ※2			○電子データ	外部() 内部() ※2 ○2 ※500万画素以上	<p>6 コンクリート工事</p> <p>7 鉄骨工事</p> <p>8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</p> <p>1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2.5)</p> <table border="1"> <tr><td>断面形状及び圧縮強さによる区分</td><td>正味厚さ(mm)</td><td colspan="2">呼び寸法(mm)</td><td>化粧の有無</td><td>適用箇所</td><td>備考</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>長さ</td><td>高さ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>※空洞ブロック-16</td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・型枠ブロック-20</td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>透水性 ・普通 ・防水 各部の配筋 ※図示 ・</p> <p>2 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 (8.3.2.3)</p> <p>ブロックの種類</p> <table border="1"> <tr><td>断面形状及び圧縮強さによる区分</td><td>正味厚さ(mm)</td><td colspan="2">呼び寸法(mm)</td><td>化粧の有無</td><td>(表8.3.1)以外の適用箇所</td><td>備考</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>長さ</td><td>高さ</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>※空洞ブロック-08</td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・型枠ブロック-16</td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td>・無・有</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>透水性 ・普通 ・防水 各部の配筋 ※図示 ・</p> <p>③ ALCパネル (8.4.2~5)</p> <table border="1"> <tr><td>パネルの区分</td><td>単位荷重(N/m²)</td><td>厚さ(mm)</td><td>長さ(mm)</td><td>耐火性能</td><td>表面加工</td><td>構法の種別</td></tr> <tr><td>○外壁用パネル</td><td></td><td>○100</td><td></td><td>有(1)時間</td><td>○平 ○意匠</td><td>○A種 ・B種</td></tr> <tr><td>・間仕切り壁用パネル</td><td></td><td>・100</td><td></td><td>・有(1)時間 ・無</td><td>・平 ・意匠</td><td>・C種 ・D種</td></tr> <tr><td>・屋根用パネル</td><td></td><td>・100</td><td></td><td>有(0.5)時間</td><td>平</td><td>F種</td></tr> <tr><td>・床用パネル</td><td></td><td>・100</td><td></td><td>有()時間</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>外壁パネルの構法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない パネル幅の最小限度(mm) ※300 ・300未満は図示() 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の目地幅 目地幅(mm) ・20 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない</p> <p>4 押出成形セメント板(ECP) (8.5.2~5)</p> <table border="1"> <tr><td>パネルの種類</td><td>表面形状</td><td>厚さ(mm)</td><td>幅(mm)</td><td>工法の種別</td><td>備考</td></tr> <tr><td rowspan="3">・外壁パネル</td><td>・F</td><td>・50・60</td><td></td><td rowspan="2">・A種 ・B種</td><td rowspan="3"></td></tr> <tr><td>・D</td><td>・50・60</td><td>600</td></tr> <tr><td>・T</td><td>60</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="2">・間仕切り壁パネル</td><td>・F</td><td>・50・60</td><td></td><td>・B種</td><td rowspan="2"></td></tr> <tr><td>・D</td><td>・50・60</td><td></td><td>・C種</td></tr> <tr><td></td><td>・T</td><td>60</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>外壁パネルの工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない パネルの相互の目地幅(mm) 長辺の目地幅 ※8以上 ・図示 短辺の目地幅 ※15以上 ・図示 出隅及び入隅のパネル接合目地は伸縮調整目地としシーリング材を充填する 目地幅(mm) ※15 ・図示 原則として、欠き込み等は行わない。やむを得ず行う場合の開口の限度 ・図示()</p>	断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考			長さ	高さ				※空洞ブロック-16				・無・有			・型枠ブロック-20				・無・有			-				・無・有			断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考			長さ	高さ				※空洞ブロック-08				・無・有			・型枠ブロック-16				・無・有			-				・無・有			パネルの区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別	○外壁用パネル		○100		有(1)時間	○平 ○意匠	○A種 ・B種	・間仕切り壁用パネル		・100		・有(1)時間 ・無	・平 ・意匠	・C種 ・D種	・屋根用パネル		・100		有(0.5)時間	平	F種	・床用パネル		・100		有()時間			パネルの種類	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考	・外壁パネル	・F	・50・60		・A種 ・B種		・D	・50・60	600	・T	60		・間仕切り壁パネル	・F	・50・60		・B種		・D	・50・60		・C種		・T	60				<p>※構造特記仕様書による</p> <p>※構造特記仕様書による</p> <p>(8.2.2.5)</p> <p>(8.3.2.3)</p> <p>(8.4.2~5)</p> <p>(8.5.2~5)</p>
	工事種別	新築工事																																																																																																																																																																																																																																																																									
構造・階数	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
建築面積	- m ²																																																																																																																																																																																																																																																																										
延べ面積	- m ²																																																																																																																																																																																																																																																																										
床面積	- m ²																																																																																																																																																																																																																																																																										
最高高さ	- m																																																																																																																																																																																																																																																																										
最高軒高	- m																																																																																																																																																																																																																																																																										
基礎	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
耐火・準耐火	-																																																																																																																																																																																																																																																																										
②仮設工事	工事範囲すべて																																																																																																																																																																																																																																																																										
③土工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
④地業工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
⑤鉄筋工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
⑥コンクリート工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
7 鉄骨工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
9 防水工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
10 石工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
11 タイル工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
12 木工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
13 屋根及びとい工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
14 金属工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
15 左官工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
16 建具工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
17 カーテンウォール工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
18 塗装工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
19 内装工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
20 ユニット及びその他の工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
適用工事種別	技能検定作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
仮設工事	○とび作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
鉄筋工事	○鉄筋組立て作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリート工事	○型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
鉄骨工事	○構造物鉄工作業 ○とび作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリートブロック	・コンクリートブロック工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
○ALCパネル	○エーエルシーパネル工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
・押出成形セメント板工事																																																																																																																																																																																																																																																																											
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
石工事	・石張り作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
タイル工事	・タイル張り作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
木工事	・大工工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
屋根及びとい工事	・内外装板金作業 ・スレート工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
金属工事	・鋼製下地工事作業 ・内外装板金作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
左官工事	・左官作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
建具工事	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
カーテンウォール工事	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
塗装工事	・建築塗装作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・壁装作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
排水工事	・建築配管作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
舗装工事	・溶融ペイントハンドマーカール工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカール工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
植栽工事	・造園工事作業																																																																																																																																																																																																																																																																										
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	画素数・画質等																																																																																																																																																																																																																																																																								
○カラー	※キャビネ板	外部(6) 内部(50) ※2 ○2	※500万画素以上																																																																																																																																																																																																																																																																								
		外観正面 (※1・) ※5 ○2																																																																																																																																																																																																																																																																									
		・カラー四切木製パネル	外部() 内部() ※2																																																																																																																																																																																																																																																																								
		・カラー半切木製パネル	外部() 内部() ※2																																																																																																																																																																																																																																																																								
		○電子データ	外部() 内部() ※2 ○2 ※500万画素以上																																																																																																																																																																																																																																																																								
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																					
		長さ	高さ																																																																																																																																																																																																																																																																								
※空洞ブロック-16				・無・有																																																																																																																																																																																																																																																																							
・型枠ブロック-20				・無・有																																																																																																																																																																																																																																																																							
-				・無・有																																																																																																																																																																																																																																																																							
断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	呼び寸法(mm)		化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																					
		長さ	高さ																																																																																																																																																																																																																																																																								
※空洞ブロック-08				・無・有																																																																																																																																																																																																																																																																							
・型枠ブロック-16				・無・有																																																																																																																																																																																																																																																																							
-				・無・有																																																																																																																																																																																																																																																																							
パネルの区分	単位荷重(N/m ²)	厚さ(mm)	長さ(mm)	耐火性能	表面加工	構法の種別																																																																																																																																																																																																																																																																					
○外壁用パネル		○100		有(1)時間	○平 ○意匠	○A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																					
・間仕切り壁用パネル		・100		・有(1)時間 ・無	・平 ・意匠	・C種 ・D種																																																																																																																																																																																																																																																																					
・屋根用パネル		・100		有(0.5)時間	平	F種																																																																																																																																																																																																																																																																					
・床用パネル		・100		有()時間																																																																																																																																																																																																																																																																							
パネルの種類	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																																						
・外壁パネル	・F	・50・60		・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・D	・50・60	600																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・T	60																																																																																																																																																																																																																																																																									
・間仕切り壁パネル	・F	・50・60		・B種																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・D	・50・60		・C種																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・T	60																																																																																																																																																																																																																																																																									
<p>一級建築士事務所 東京都登録第4539号</p> <p>株式会社 楠山設計</p> <p>東京都千代田区神田小川町三丁目20番地</p>	<p>意匠設計</p> <p>一級建築士登録第 228646 号</p> <p>磯部 力 啓</p>	<p>構造設計一級建築士登録第 6676 号</p> <p>仮屋 園 耕一</p> <p>一級建築士登録第 271669 号</p> <p>仮屋 園 耕一</p>	<p>設備設計</p> <p>一級建築士登録第 228646 号</p> <p>磯部 力 啓</p>	<p>DATE</p> <p>2017.12</p> <p>TITLE</p> <p>館山市新学校給食センター建設工事</p> <p>SUBTITLE</p> <p>ガスバルクタンク設備 特記仕様書(1)</p> <p>SCALE</p> <p>A1: NON A3: NON</p> <p>DRAWN NO.</p> <p>設計図 意匠 A - 001</p>																																																																																																																																																																																																																																																																							

9 防水工事

① アスファルト防水 (9.2.2~5) (表9.2.3~9)

屋根保護防水 防水層の種類

種類	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・A-1			※* リシフノム 厚さ0.15mm以上	・乾式保護材
・A-2				
・A-3				
・B-1				・コンクリート押え
・B-2				
・B-3				
・AI-1		(材質) ※JIS A 9521 (建築用断熱材) による押出法* リシフノム 2種A(2層付き) またはJIS A 9511 (発泡ブリアック保温材) によるA種押出法* リシフノム保温材の保温板3種B(3層あり)	※フットマン02 70g/m ² 程度	○ 砂付きトコノグ
○ AI-2	陸屋根			
・AI-3				
・BI-1				
・BI-2				
・BI-3				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
 ※標準仕様書表9.2.3から表9.2.8による
 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
 ※標準仕様書表9.2.5から表9.2.8による
 平場の保護コンクリートの厚さ
 こて仕上げ ※水下 90mm 以上
 床タイル張り ※水下 60mm 以上
 立上り部の保護
 ・乾式保護材
 産業系パネル：無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。
 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
 屋上排水溝 ※図示

屋根露出防水 防水層の種類

種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反 射率防 水の適用
			種類	使用量	
・D-1					
・D-2					
・D-3					
・D-4					
・DI-1		(材質) ※JIS A 9521 による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511 によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの			
・DI-2					

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示

屋内防水 防水層の種類

種類	施工箇所	種類	施工箇所
○ E-1		E-2	

保護層 ・設ける (※図示) ・設けない
 防水層の地下、立上りコンクリート打放し仕上げ
 ※標準仕様書表6.2.4 [打放し仕上げ種別] のB種
 押え金物の材質及び形状寸法
 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
 防水層の地下のモルタル塗り
 ・適用する (施工範囲) ※図示
 ・適用しない

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2.3) (表9.3.1~3)

防水層の種類

種類	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反 射率防 水の適用
			種類	使用量	
・AS-T1					
・AS-T2					
・AS-T3					
・AS-T4					
・AS-J1					
・ASI-T1		(材質) ※JIS A 9521 (建築用断熱材) による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511 (発泡ブリアック保温材) によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの			
・ASI-J1					

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
 ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
 ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
 ※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
 押え金物
 ※改質アスファルト製造所の仕様による

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種類 (9.4.2~4) (表9.4.1~3)

種類	施工箇所	絶縁用シートの材質	断熱材	仕上塗料		高日射反 射率防 水の適用
				種類	使用量	
・S-F1				・製造所の指定による	・製造所の指定による	
・S-F2						
・S-M1						
・S-M2						
・S-M3						
・SI-F1			(材質) ※下記に示すもののほか、JIS A 9521 (建築用断熱材) によるポリウレタン保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの又はJIS A 9511 (発泡ブリアック保温材) によるA種硬質ウレタン保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの			
・SI-F2						
・SI-M1			(材質) ※JIS A 9521 (建築用断熱材) による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの、JIS A9521 (建築用断熱材) による押出法* リシフノム断熱材の1種b、2種b又は3種b、JIS A9511 (発泡ブリアック保温材) によるA種硬質ウレタン保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規格に適合するもの、JIS A 9511 (発泡ブリアック保温材) によるA種押出法* リシフノム保温材の保温板			
・SI-M2		※発泡ブリアックシート				

屋内防水層の種類

種類	施工箇所	保護層		立上り部の保護
		平場のモルタル塗り	床塗り工法	
・S-C1		※標準仕様書15.2.5(b) (2) 及び (3) に準ずる	※標準仕様書15.2.5(a) (1) に準ずる	※7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ

A L C パネル下地の場合機械的固定工法は適用しないルーフィングシートの種類及び厚さ
 ※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による

固定金具の材質及び形状
 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの
 厚さ (mm) ※0.4以上

防水下地がP Cコンクリート部材下地の場合の処理
 目地処理 ※図示
 入隅部の増張り (S-F1, SI-F1, S-C1の場合) ※図示

防水下地がA L C パネル下地の場合の処理
 目地処理 ※図示
 入隅部の増張り (S-C1の場合) ※図示

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
 ・適用しない
 保護層の施工 (屋内保護密着工法の場合) ※図示

④ 塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1.2)

防水層の種類

種類	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射反 射率防 水の適用
		種類	使用量		
・X-1		・製造所の指定による	・製造所の指定による		
○ X-2	※図示				
・Y-1	※地下外壁防水				
・Y-2	※屋内防水			・適用する	・適用しない

5 ケイ酸質系塗布膜防水 (9.6.1.3) (表9.6.1.2)

防水層の種類

種類	施工箇所	種類	施工箇所
※C-U1		C-U2	
ケイ酸質系塗布防水 (大関化学工業 (株) 水垢付同等品) ; 配管ピット (外周部の防火水槽) (9.2.3) (9.3.3) (9.5.3)			
防水種別		種類	設置数量
D-1 D-2 D-3 D-4		※アクリル系樹脂類製造所の仕様による	※アクリル系樹脂類製造所の仕様による
DI-1 DI-2 AS-T3			値/m ²
AS-T4 AS-J1			
AS1-T1 AS1-J1			
X-1		・防水層の主材料の製造所の仕様による	・防水層の主材料の製造所の仕様による

6 脱気装置

7 シーリング (9.7.2) (表9.7.1)

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による
 ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)
ALCパネル	PU-2ポリウレタン系
建具廻り	MS-2シリコン系

シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a) (1)~(3)による

10 石工事

1 施工 (10.1.3.5)

石材の割付け ※標準仕様書10.1.3(a) (1), (2)による
 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ※図示
 屋内の床を本磨きとする場合のワックス掛け
 ・行う (適用箇所) ・全て ()
 ・行わない

2 石材等 (10.2.1.3) (表10.2.1.2)

天然石	施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考
		・1等品 ・2等品		※正方形に近い矩形				

テラズブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状	仕上がり面	寸法 (mm)	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花崗岩	※1.5~12	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラズタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花崗岩	※1.5~12	・300型 ・400型		

取り付用モルタル、既調合の目地モルタル、石表面処理材、裏打ち処理材
 ※石材施工業者の指定する製法

3 外壁湿式工法 (10.2.2.3) (10.3.2.3)

受金物 材質 ※SS400
 形状及び寸法
 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm
 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm

石表面処理 ・適用する ・適用しない
 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
 下地ごしらえ ※流し筋工法
 ・あと施工アンカー工法
 ・あと施工アンカー・横筋流し工法
 ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ

アンカーの材質及び径 ※SS400 M12
 あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
 目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上
 シーリング材 ・適用する ・適用しない
 伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書表11.1.1.1による
 シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a) (3)による
 ・図示

10 石工事 (続き)

4 内壁空積工法 (10.2.2) (10.4.2.3)

受金物 材質 ※SS400
 形状及び寸法
 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm
 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm

石表面処理 ・適用する ・適用しない
 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・あと施工アンカー工法
 アンカーの材質及び径 ※SS400 M12
 あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
 目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上
 シーリング材 ・適用する ・適用しない
 伸縮調整目地 位置 ※6mmごと ・図示
 シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a) (3)による
 ・図示

5 乾式工法 (10.2.2) (10.5.2.3) (表10.2.4)

取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
 石表面処理 ・適用する ・適用しない
 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
 だば用の穴の位置 ※標準仕様書10.5.2(b) (1)による
 外壁の工法
 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
 ・適用しない
 アンカーの材質及び径 ※ステンレス (SUS 304) M10
 あと施工アンカーの材質及び寸法 ()
 目地 目地幅 (mm) ※8以上
 シーリング材 ・適用する (※標準仕様書9.7.1による) ・図示
 ・適用しない

6 床及び階段の石張り (10.6.2.3)

床石張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
 階段張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない
 目地 一般目地 目地幅 (mm) ・図示
 シーリング材 ・適用する ・適用しない
 伸縮調整目地 位置 ※床面積30m²程度ごと、総長い通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部
 ・図示

7 アーチ、上げ裏等の石張り (10.2.2) (10.7.1.2)

取付け工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法
 取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による
 引金物、だば、かすがい及び受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による
 吊金物及び化粧吊りホルダー
 ・設ける 吊金物 ※ステンレス (SUS 304) 径6mm長さ80mm (加工物)
 ・設けない 吊りボルト ※ステンレス (SUS 304) M10化粧ナット付き

8 笠木、甲板等の石張り (10.2.2) (10.7.1.3)

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法
 取付け金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による
 引金物、だば、かすがい及び受金物 ※標準仕様書10.2.2(a)による
 石表面処理 ・適用する ・適用しない
 乾式工法の場合の取付け方 ※標準仕様書10.5.2(b)による
 石表面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない
 アンカーの材質及び径 ・ステンレス (SUS 304) M10
 あと施工アンカーの材質及び寸法 ()

11 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) (表11.1.1)	位置 ※標準仕様書表11.1.1による 図示																																						
	2 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り (11.2.2, 3, 7)	<p>位置 ※標準仕様書表11.1.1による 図示</p> <p>② 陶磁器質タイル張り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐汚損性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床 (1階玄関)</td> <td>150角</td> <td>○</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行方 ・行わない 見本焼き ・行方 ・行わない モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法 (高圧洗浄)</p> <p>壁タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 ・既製調合目地材</p>	施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚損性	備考	I類	II類	III類	床 (1階玄関)	150角	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○											
	施工箇所	形状寸法 (mm)				再生材の適用	吸水率による区分								うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚損性	備考																				
			I類	II類	III類																																			
床 (1階玄関)	150角	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○																													
3 接着剤による陶磁器質タイル張り (11.3.2~4.7)	<p>位置 ※標準仕様書表11.1.1による 図示</p> <p>③ 接着剤による陶磁器質タイル張り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐汚損性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行方 ・行わない 見本焼き ・行方 ・行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>外装壁タイル接着材張りにおける目地のシーリング材 ・伸縮調整目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材</p> <p>モルタル塗りをしたコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法 (高圧洗浄)</p>	施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚損性	備考	I類	II類	III類				●	●	●	○	○	○	○	○	○												
施工箇所	形状寸法 (mm)				再生材の適用	吸水率による区分								うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚損性	備考																					
		I類	II類	III類																																				
			●	●	●	○	○	○	○	○	○																													
4 陶磁器質タイル型枠先付け (11.4.2, 3) (表11.4.1)	<p>位置 ※標準仕様書表11.1.1による 図示</p> <p>④ 陶磁器質タイル型枠先付け</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">再生材の適用</th> <th colspan="3">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">うわぐすり</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐汚損性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・行方 ・行わない 見本焼き ・行方 ・行わない</p> <p>タイル型枠先付けの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>適用タイル</th> <th>タイル型枠先付け面のせき板の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・タイルシート法</td> <td>・小口タイル</td> <td>・標準仕様書6.8.3(b) (2)</td> </tr> <tr> <td>・目地削法</td> <td>・二丁掛けタイル</td> <td>・金属製タイル先付けパネル</td> </tr> <tr> <td>・積木法</td> <td>・大形タイル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚損性	備考	I類	II類	III類				●	●	●	○	○	○	○	○	○	種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類	・タイルシート法	・小口タイル	・標準仕様書6.8.3(b) (2)	・目地削法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付けパネル	・積木法	・大形タイル	
施工箇所	形状寸法 (mm)				再生材の適用	吸水率による区分								うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐汚損性	備考																					
		I類	II類	III類																																				
			●	●	●	○	○	○	○	○	○																													
種類	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板の種類																																						
・タイルシート法	・小口タイル	・標準仕様書6.8.3(b) (2)																																						
・目地削法	・二丁掛けタイル	・金属製タイル先付けパネル																																						
・積木法	・大形タイル																																							

12 木工事	1 表面仕上げ (12.1.4)	<p>位置 ※標準仕様書表12.1.1による 図示</p> <p>① 表面仕上げ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">樹種</th> <th rowspan="2">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">等級</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">含水率</th> <th rowspan="2">間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※2級</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>※2級</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (12.2.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)</p> <p>・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率 (%)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種・B種)</td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・代用樹種を使用できない箇所 ()</p>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用	※2級	※A種	・B種	※2級	※A種	・B種	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※2級		※A種	・B種				※2級		※A種	・B種	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率 (%)	間伐材等の適用				※1等		※10以下					※1等		※10以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用				()	・適用する	・適用しない	※A種	・B種				造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	※A種	・B種				()	・適用する	・適用しない	※A種	・B種				造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	※A種	・B種
	施工箇所	樹種								寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																			
			※2級	※A種	・B種																																																																																												
	※2級	※A種	・B種																																																																																														
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																																											
			※2級		※A種	・B種																																																																																											
			※2級		※A種	・B種																																																																																											
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																											
			※1等		※10以下																																																																																												
			※1等		※10以下																																																																																												
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																										
			()	・適用する	・適用しない	※A種	・B種																																																																																										
			造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	※A種	・B種																																																																																										
			()	・適用する	・適用しない	※A種	・B種																																																																																										
			造作材の場合 (※A種・B種)	・適用しない	・適用しない	※A種	・B種																																																																																										
2 造作用集成材 (12.2.1)	<p>位置 ※標準仕様書表12.1.1による 図示</p> <p>② 造作用集成材</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>・2等</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td>※1等</td> <td>・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率 (%)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率 (%)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td>※15以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材</p>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用				※1等	・2等	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用				化粧薄板: 芯材:	※1等	・2等				化粧薄板: 芯材:			施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用				化粧薄板: 芯材:					化粧薄板: 芯材:		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用					※15以下						※15以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用				化粧薄板: 芯材:		※15以下					化粧薄板: 芯材:		※15以下															
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																													
			※1等	・2等																																																																																													
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																												
			化粧薄板: 芯材:	※1等	・2等																																																																																												
			化粧薄板: 芯材:																																																																																														
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用																																																																																													
			化粧薄板: 芯材:																																																																																														
			化粧薄板: 芯材:																																																																																														
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																												
				※15以下																																																																																													
				※15以下																																																																																													
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用																																																																																											
			化粧薄板: 芯材:		※15以下																																																																																												
			化粧薄板: 芯材:		※15以下																																																																																												
3 造作用単板積層材 (12.2.1)	<p>位置 ※標準仕様書表12.1.1による 図示</p> <p>③ 造作用単板積層材</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無し (等級:)</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無し ()</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>含水率 (%)</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>※14以下</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無し ()</td> <td>※14以下</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用			・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する	・適用しない			・無し (等級:)	・適用する	・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用			・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する	・適用しない			・無し ()	・適用する	・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理	間伐材等の適用			・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14以下	・適用する	・適用しない			・無し ()	※14以下	・適用する	・適用しない																																																
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																													
		・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する	・適用しない																																																																																													
		・無し (等級:)	・適用する	・適用しない																																																																																													
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																													
		・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・適用する	・適用しない																																																																																													
		・無し ()	・適用する	・適用しない																																																																																													
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																												
		・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14以下	・適用する	・適用しない																																																																																												
		・無し ()	※14以下	・適用する	・適用しない																																																																																												
4 造作用単板積層材 (12.2.1)	<p>位置 ※標準仕様書表12.1.1による 図示</p> <p>④ 造作用単板積層材</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>含水率 (%)</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>※14以下</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無し ()</td> <td>※14以下</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>含水率 (%)</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>※14以下</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無し ()</td> <td>※14以下</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理	間伐材等の適用			・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14以下	・適用する	・適用しない			・無し ()	※14以下	・適用する	・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理	間伐材等の適用			・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14以下	・適用する	・適用しない			・無し ()	※14以下	・適用する	・適用しない																																																												
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																												
		・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14以下	・適用する	・適用しない																																																																																												
		・無し ()	※14以下	・適用する	・適用しない																																																																																												
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	含水率 (%)	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																												
		・有り (加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14以下	・適用する	・適用しない																																																																																												
		・無し ()	※14以下	・適用する	・適用しない																																																																																												

13 屋根及びびとい工事	5 床張り用合板等 (12.2.1)	<p>位置 ※標準仕様書表12.1.1による 図示</p> <p>⑤ 床張り用合板等</p> <p>合板のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・普通合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接合の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類</td> <td>広葉樹 ※2等以上</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・2類</td> <td>・1等 針葉樹 ※0-D以上</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類</td> <td></td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・構造用合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接合の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>有効断面係数</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※2級以上</td> <td>・1類</td> <td>・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td>※12</td> <td></td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1級</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・2級</td> <td>・1類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する</td> <td>・適用する</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1級</td> <td>・特類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用しない</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・パーティクルボード</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表表面の状況による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※3タイプ</td> <td></td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </tbody> </table> <p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・1級</td> <td>・2級</td> <td>・3級</td> <td>・4級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・1級</td> <td>・2級</td> <td>・3級</td> <td>・4級</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥ 接着剤</p> <p>7 防蟻・防蟻処理 (12.2.2, 3) (12.3.1, 2)</p> <p>接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・防蟻・防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材 適用部位: ()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部位</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・K2</td> <td>・K3</td> <td>・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2</td> <td>・K3</td> <td>・K4</td> </tr> </tbody> </table> <p>・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※標準仕様書12.3.1(3) (Ⅱ) ①~④による</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ボード原料接着材への薬剤混入による防蟻・防蟻処理 適用部位: ()</p>	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		※5.5		※1類	広葉樹 ※2等以上	・適用する	・適用しない				・2類	・1等 針葉樹 ※0-D以上	・適用する	・適用しない				・1類		・適用する	・適用しない	施工箇所	等級	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質	厚さ (mm)	有効断面係数	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用		※2級以上	・1類	・特類	※C-D以上	※12		・適用する	・適用する	・適用しない		・1級						・適用しない	・適用しない			・2級	・1類					・適用する	・適用する	・適用しない		・1級	・特類					・適用しない	・適用しない		施工箇所	表表面の状況による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)		※3タイプ		※P又はM		※15	施工箇所	等級	厚さ (mm)		・1級	・2級	・3級	・4級		・1級	・2級	・3級	・4級	適用部位	保存処理性能区分		・K2	・K3	・K4		・K2	・K3	・K4	適用部位	処理の方法		※標準仕様書12.3.1(3) (Ⅱ) ①~④による
	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																
		※5.5		※1類	広葉樹 ※2等以上	・適用する	・適用しない																																																																																																																
				・2類	・1等 針葉樹 ※0-D以上	・適用する	・適用しない																																																																																																																
			・1類		・適用する	・適用しない																																																																																																																	
施工箇所	等級	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質	厚さ (mm)	有効断面係数	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																																																																																																														
	※2級以上	・1類	・特類	※C-D以上	※12		・適用する	・適用する	・適用しない																																																																																																														
	・1級						・適用しない	・適用しない																																																																																																															
	・2級	・1類					・適用する	・適用する	・適用しない																																																																																																														
	・1級	・特類					・適用しない	・適用しない																																																																																																															
施工箇所	表表面の状況による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																		
	※3タイプ		※P又はM		※15																																																																																																																		
施工箇所	等級	厚さ (mm)																																																																																																																					
	・1級	・2級	・3級	・4級																																																																																																																			
	・1級	・2級	・3級	・4級																																																																																																																			
適用部位	保存処理性能区分																																																																																																																						
	・K2	・K3	・K4																																																																																																																				
	・K2	・K3	・K4																																																																																																																				
適用部位	処理の方法																																																																																																																						
	※標準仕様書12.3.1(3) (Ⅱ) ①~④による																																																																																																																						
14 金属工事	1 長尺金属板葺 (13.2.2, 3)	<p>位置 ※標準仕様書表13.2.1による 図示</p> <p>① 長尺金属板葺</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>屋根葺形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 図示</td> <td>※JIS G 3022の屋根用コイル</td> <td>○ 図示</td> <td></td> <td>・心木なし瓦葺葺 ・平葺 ・立平葺 ・横葺</td> <td>○ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>下葺材料 ・アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層葺材タイプ ・粘着層付タイプ) ○ 図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 雪止め ○設置する 図示 ()</p>	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考	○ 図示	※JIS G 3022の屋根用コイル	○ 図示		・心木なし瓦葺葺 ・平葺 ・立平葺 ・横葺	○ 図示																																																																																																									
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考																																																																																																																		
○ 図示	※JIS G 3022の屋根用コイル	○ 図示		・心木なし瓦葺葺 ・平葺 ・立平葺 ・横葺	○ 図示																																																																																																																		
2 折板葺 (13.2.2) (13.3.2, 3) (表13.2.1)	<p>位置 ※標準仕様書表13.2.1による 図示</p> <p>② 折板葺</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山径による区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>野先面</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 図示</td> <td>※重ね形、はげ締め形、かん合形</td> <td>() 種</td> <td></td> <td>※鋼板製、7&8mm合板製</td> <td></td> <td>・有り</td> <td>・30分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無し</td> <td>・無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ()</p> <p>断熱材 ・有り (種別:) 厚さ (mm): 防火性能: 時間:) ・無し</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない</p>	施工箇所	形式	山高、山径による区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	野先面	耐火性能	○ 図示	※重ね形、はげ締め形、かん合形	() 種		※鋼板製、7&8mm合板製		・有り	・30分							・無し	・無し																																																																																														
施工箇所	形式	山高、山径による区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	野先面	耐火性能																																																																																																																
○ 図示	※重ね形、はげ締め形、かん合形	() 種		※鋼板製、7&8mm合板製		・有り	・30分																																																																																																																
						・無し	・無し																																																																																																																
3 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)	<p>位置 ※標準仕様書表14.2.1による 図示</p> <p>③ 鉄鋼の垂鉛めっき</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶融垂鉛めっき</td> <td>○A種</td> <td>外部庇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	溶融垂鉛めっき	○A種	外部庇		・B種			・C種			・D種			・E種			・F種																																																																																																		
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																																																																																																					
溶融垂鉛めっき	○A種	外部庇																																																																																																																					
	・B種																																																																																																																						
	・C種																																																																																																																						
	・D種																																																																																																																						
	・E種																																																																																																																						
	・F種																																																																																																																						
4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)	<p>位置 ※標準仕様書表14.4.1による 図示</p> <p>④ 軽量鉄骨天井下地</p> <p>野縁等の種類 屋外 ※25型 ・19型 屋内 ※19型 ・25型 ○ 屋外の軒天井、ピロティ天井等</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 野縁受、吊りボルト、インサナーの間隔及び周辺部からの距離 ※図示 周辺部からの距離 ※図示 野縁の間隔 ※図示</p> <p>○ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示</p> <p>○ 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(h) (1)~(2)による 図示</p> <p>・天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示</p> <p>○ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・図示 補強方法 ※図示</p>																																																																																																																						
5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)	<p>位置 ※標準仕様書表14.5.1による 図示</p> <p>⑤ 軽量鉄骨壁下地</p> <p>スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示</p>																																																																																																																						

13 屋根及びびとい工事 (続き)	3 粘土瓦葺 (13.4.2, 3)	<p>位置 ※標準仕様書表13.4.1による 図示</p> <p>③ 粘土瓦葺</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">製法による区分</th> <th rowspan="2">形状による区分</th> <th rowspan="2">寸法による区分</th> <th rowspan="2">大きさ</th> <th rowspan="2">産地</th> <th rowspan="2">役物瓦の種類</th> <th rowspan="2">雪止め瓦</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>瓦棟木 材質 ※杉又はひのき 寸法 ※幅21×高さ15(mm)</p> <p>棟補強用心材 材質 ※杉又はひのき 寸法 ※幅40×高さ30(mm)</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 瓦棟木の留付け工法 ※図示</p> <p>棟の工法 ・7寸丸伏せ様又は型用瓦伏せ様 ・のし一様棟 ・のし積み棟</p> <p>○ とい (13.5.2, 3) (表13.5.5)</p> <p>この材料 ・配管用鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>鋼管製といの防露巻き ・適用する (工法: ※標準仕様書 表13.5.5による) ・適用しない</p> <p>ルーフドレン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種類	製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦									種別	施工箇所	・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用	
	施工箇所	種類										製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦									
	種別	施工箇所																									
・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)																											
・バルコニー用																											
・バルコニー中継用																											
14 金属工事	1 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)	<p>位置 ※標準仕様書表14.2.1による 図示</p> <p>① ステンレスの表面仕上げ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・No.2B 程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○鏡面仕上げ 程度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)	○A種		・No.2B 程度		○鏡面仕上げ 程度																		
種類	施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外)																										
○A種																											
・No.2B 程度																											
○鏡面仕上げ 程度																											
2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)	<p>位置 ※標準仕様書表14.2.1による 図示</p> <p>② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>皮膜又は複合皮膜の種類</th> <th>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A-1種</td> <td>※AA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A-2種 (・A-2種)</td> <td>※AA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B-1種</td> <td>※B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○B-2種 (・A-2種)</td> <td>※B</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・C-1種</td> <td>※AA6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-2種 (・A-2種)</td> <td>※AA6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色</p>	種別	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	・A-1種	※AA15		・A-2種 (・A-2種)	※AA15		・B-1種	※B		○B-2種 (・A-2種)	※B	図示	・C-1種	※AA6		・C-2種 (・A-2種)	※AA6		・D種				
種別	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																									
・A-1種	※AA15																										
・A-2種 (・A-2種)	※AA15																										
・B-1種	※B																										
○B-2種 (・A-2種)	※B	図示																									
・C-1種	※AA6																										
・C-2種 (・A-2種)	※AA6																										
・D種																											
3 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2)	<p>位置 ※標準仕様書表14.2.1による 図示</p> <p>③ 鉄鋼の垂鉛めっき</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溶融垂鉛めっき</td> <td>○A種</td> <td>外部庇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	溶融垂鉛めっき	○A種	外部庇		・B種			・C種			・D種			・E種			・F種						
表面処理方法	種別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																									
溶融垂鉛めっき	○A種	外部庇																									
	・B種																										
	・C種																										
	・D種																										
	・E種																										
	・F種																										
4 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)	<p>位置 ※標準仕様書表14.4.1による 図示</p> <p>④ 軽量鉄骨天井下地</p> <p>野縁等の種類 屋外 ※25型 ・19型 屋内 ※19型 ・25型 ○ 屋外の軒天井、ピロティ天井等</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 野縁受、吊りボルト、インサナーの間隔及び周辺部からの距離 ※図示 周辺部からの距離 ※図示 野縁の間隔 ※図示</p> <p>○ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示</p> <p>○ 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(h) (1)~(2)による 図示</p> <p>・天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示</p> <p>○ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・図示 補強方法 ※図示</p>																										
5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)	<p>位置 ※標準仕様書表14.5.1による 図示</p> <p>⑤ 軽量鉄骨壁下地</p> <p>スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示</p>																										

6 金属成形板張り	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">製法</th> <th rowspan="2">形状</th> <th rowspan="2">板幅 (mm)</th> <th rowspan="2">板厚 (mm)</th> <th colspan="2">表面処理</th> </tr> <tr> <th>種別</th> <th>皮膜等の種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・押し出し ・ロール ・プレス ・7&ミ>ム</td> <td rowspan="2">Sバンド形 H形</td> <td rowspan="2">n形</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・B-1種</td> <td>※B</td> </tr> <tr> <td>・B-2種 (・アパ ・アロズ・アラフ 系・スチンカ)</td> <td>※B</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・C-1種</td> <td rowspan="2">※AA6</td> <td>・C-2種 (・アパ ・アロズ・アラフ 系・スチンカ)</td> <td>※AA6</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> </tr> </table>	種別	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理		種別	皮膜等の種類	・押し出し ・ロール ・プレス ・7&ミ>ム	Sバンド形 H形	n形			・B-1種	※B	・B-2種 (・アパ ・アロズ・アラフ 系・スチンカ)	※B	・C-1種	※AA6	・C-2種 (・アパ ・アロズ・アラフ 系・スチンカ)	※AA6	・D種		(14.6.2.3) (表14.2.1)																																																																																									
	種別						製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)						表面処理																																																																																																			
種別		皮膜等の種類																																																																																																																	
・押し出し ・ロール ・プレス ・7&ミ>ム	Sバンド形 H形	n形			・B-1種	※B																																																																																																													
					・B-2種 (・アパ ・アロズ・アラフ 系・スチンカ)	※B																																																																																																													
	・C-1種	※AA6	・C-2種 (・アパ ・アロズ・アラフ 系・スチンカ)	※AA6																																																																																																															
			・D種																																																																																																																
<p>取付け用下地 ※標準仕様書14.4による・図示</p> <p>伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所・図示)</p> <p>・設けない</p>	(14.7.2.3) (表14.2.1) (表14.7.1)																																																																																																																		
7 7&ミ>ム製笠木	<p>種類 ・250形 ○300形 ・350形 ・100形</p> <p>表面処理 種別 () 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書14.2.1による)</p> <p>着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ○ステンカラー)</p> <p>笠木の固定金具の工法等</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法</p> <p>※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p>	(14.8.2.3)																																																																																																																	
8 手すり及びタラップ	<p>手すり ○ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※HL程度 ・No.2B程度 ○鏡面仕上げ)</p> <p>・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種)</p> <p>タラップ ○ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※研磨なし)</p> <p>・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっきC種)</p>	(14.8.2.3)																																																																																																																	
15 左官工事	<p>① モルタル塗り (15.2.2.5)</p> <p>既製目地材 ・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示)</p> <p>・設けない</p> <p>床目地 ・設ける (工法 ※押し目地)</p> <p>・設けない</p> <p>外壁タイル張り下地の下地モルタルの接着力試験</p> <p>・行う</p> <p>・行わない</p> <p>・防水剤</p> <p>② 床コンクリート直均し仕上げ (6.2.5) (15.3.2)</p> <p>下表以外は標準仕様書6.2.5及び標準仕様書15.3.2による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>平坦さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○フリーアクセスフロア (支持調型) 範囲</td> <td>1mにつき10以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フリーアクセスフロア (置敷式) 範囲</td> <td>3mにつき7以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>③ セルフレベリング材塗り (15.4.2) (表15.4.1)</p> <p>・せつこう系 ○セメント系</p> <p>④ 仕上塗材仕上げ (15.5.2) (表15.5.1)</p> <p>建物内顔に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>仕上塗材の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">○薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td>・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>○外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・平坦状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材E</td> <td>・</td> <td>・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・</td> <td>○断色骨材砂壁状 ○吹付け ・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材O</td> <td>・</td> <td>・砂壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材L</td> <td>・</td> <td>・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材Si</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材E</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">・厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・</td> <td>・吸放湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・</td> <td>・耐湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・</td> <td>・吹出し ・凸凹処理 ・平坦状</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・</td> <td>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材O</td> <td>・</td> <td>・吸放湿性 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材L</td> <td>・</td> <td>・上塗材 ・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材O</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材Si</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・内装厚塗材E</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">○複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材CE</td> <td>・</td> <td>○ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>・</td> <td>・上塗材</td> </tr> <tr> <td>○複層塗材E</td> <td>・</td> <td>・耐候性 ※耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RE</td> <td>・</td> <td>・溶媒 ※水系 ・溶剤系</td> </tr> <tr> <td>○防水形複層塗材CE</td> <td>・</td> <td>・樹脂 ※アクリル系</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・</td> <td>・外観 ※つやあり ・つやなし ・ツリツク</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材RE</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材RS</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材RS</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・軽量骨材仕上塗材</td> <td>・吹付け軽量塗材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・こて塗用軽量塗材</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	平坦さ (mm)	備考	○フリーアクセスフロア (支持調型) 範囲	1mにつき10以下		・フリーアクセスフロア (置敷式) 範囲	3mにつき7以下		種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り)	○外装薄塗材E	・	・さざ波状	・可とう形外装薄塗材E	・	・平坦状	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り)	・外装薄塗材S	・	○断色骨材砂壁状 ○吹付け ・こて塗り	・内装薄塗材O	・	・砂壁状じゅらく	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく	・内装薄塗材Si	・		・内装薄塗材E	・		・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吸放湿性 ・適用する ・適用しない	・外装厚塗材Si	・	・耐湿性 ・適用する ・適用しない	・外装厚塗材E	・	・吹出し ・凸凹処理 ・平坦状	・外装厚塗材C	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・外装厚塗材E	・		・内装厚塗材O	・	・吸放湿性 ・適用する ・適用しない	・内装厚塗材L	・	・上塗材 ・適用する ・適用しない	・内装厚塗材O	・		・内装厚塗材Si	・		・内装厚塗材E	・		○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	○ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸状	・可とう形複層塗材CE	・		・複層塗材Si	・	・上塗材	○複層塗材E	・	・耐候性 ※耐候形3種	・複層塗材RE	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系	○防水形複層塗材CE	・	・樹脂 ※アクリル系	・防水形複層塗材E	・	・外観 ※つやあり ・つやなし ・ツリツク	・防水形複層塗材RE	・		・防水形複層塗材RS	・		・防水形複層塗材RS	・		・軽量骨材仕上塗材	・吹付け軽量塗材	・		・こて塗用軽量塗材	・		(15.2.2.5)
施工箇所	平坦さ (mm)	備考																																																																																																																	
○フリーアクセスフロア (支持調型) 範囲	1mにつき10以下																																																																																																																		
・フリーアクセスフロア (置敷式) 範囲	3mにつき7以下																																																																																																																		
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																
○薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状																																																																																																																
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り)																																																																																																																
	○外装薄塗材E	・	・さざ波状																																																																																																																
	・可とう形外装薄塗材E	・	・平坦状																																																																																																																
	・防水形外装薄塗材E	・	・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り)																																																																																																																
	・外装薄塗材S	・	○断色骨材砂壁状 ○吹付け ・こて塗り																																																																																																																
	・内装薄塗材O	・	・砂壁状じゅらく																																																																																																																
	・内装薄塗材L	・	・京壁状じゅらく																																																																																																																
	・内装薄塗材Si	・																																																																																																																	
	・内装薄塗材E	・																																																																																																																	
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吸放湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																																																
	・外装厚塗材Si	・	・耐湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																																																
	・外装厚塗材E	・	・吹出し ・凸凹処理 ・平坦状																																																																																																																
	・外装厚塗材C	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																																																
	・外装厚塗材E	・																																																																																																																	
	・内装厚塗材O	・	・吸放湿性 ・適用する ・適用しない																																																																																																																
	・内装厚塗材L	・	・上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																																																
	・内装厚塗材O	・																																																																																																																	
	・内装厚塗材Si	・																																																																																																																	
	・内装厚塗材E	・																																																																																																																	
○複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	○ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸状																																																																																																																
	・可とう形複層塗材CE	・																																																																																																																	
	・複層塗材Si	・	・上塗材																																																																																																																
	○複層塗材E	・	・耐候性 ※耐候形3種																																																																																																																
	・複層塗材RE	・	・溶媒 ※水系 ・溶剤系																																																																																																																
	○防水形複層塗材CE	・	・樹脂 ※アクリル系																																																																																																																
	・防水形複層塗材E	・	・外観 ※つやあり ・つやなし ・ツリツク																																																																																																																
	・防水形複層塗材RE	・																																																																																																																	
	・防水形複層塗材RS	・																																																																																																																	
	・防水形複層塗材RS	・																																																																																																																	
・軽量骨材仕上塗材	・吹付け軽量塗材	・																																																																																																																	
	・こて塗用軽量塗材	・																																																																																																																	
ALCパネルの場合の下地処理 (15.5.4)	<p>内壁目地部の形状 ※V形目地付き</p>	(15.5.4)																																																																																																																	
6 マスク塗材塗り (15.6.2)	<p>種別 ・A種 ・B種 (仕上材塗り:EP-G ※B種 ・A種)</p>	(15.6.2)																																																																																																																	
7 ロックウール吹付け (15.8.2)	<p>ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>吹付け厚さ (mm) ・図示 ・25</p>	(15.8.2)																																																																																																																	

16 建具工事	<p>① 防火戸 (16.1.3)</p> <p>※建具表による</p> <p>2 見本の製作等 (16.1.4)</p> <p>建具見本の製作 ・行う (建具符号:)</p> <p>・行わない</p> <p>建具見本の程度 ・工事を使用するものとして、あらかじめ製作する</p> <p>・納まり等が分かる程度のもの</p> <p>特殊な建具の取組 ・行う (建具符号:)</p> <p>・行わない</p> <p>3 防犯建物部品 (16.1.6)</p> <p>・適用する (適用箇所は建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>④ アルミニウム製建具 (16.2.2.4.5) (表14.2.1)</p> <p>性能等級</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>○B種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・C種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法 ○建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具 ・B-1種 ○B-2種</p> <p>皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)</p> <p>着色 (・アンバー ○ブロンズ ・ブラック系 ○ステンカラー)</p> <p>・C-1種 ○C-2種</p> <p>皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による)</p> <p>着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ○ステンカラー)</p> <p>結露水の処理方法 ※図示</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>⑤ 網戸等 (16.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス (SUS 316) 製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS 304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>6 樹脂製建具 (16.3.2~5)</p> <p>性能等級</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・B種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・C種 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2)</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6)</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色</p> <p>水切り板、ぜん板 ※図示</p> <p>ガラス ※複層ガラス</p> <p>⑦ 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型 ○適用する (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・S-5 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・S-6 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>鋼板</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>めっき付着量</th> <th>厚 さ</th> </tr> <tr> <td>○JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</td> <td>※Z12又はF12</td> <td>※標準仕様書表16.4.2による</td> </tr> <tr> <td>・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)</td> <td>※Y08</td> <td></td> </tr> </table> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型 ・適用する (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>鋼板</p> <p>鋼板の厚さ ※垂鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板</p> <p>※標準仕様書表16.5.11による</p> <p>召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板</p> <p>⑧ 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型 ・適用する (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p>	種類	材種	線径	網目	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス (SUS 316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS 304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm	材 料	めっき付着量	厚 さ	○JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	※Z12又はF12	※標準仕様書表16.4.2による	・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)	※Y08																																																																																																																																													
種類	材種	線径	網目																																																																																																																																																															
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス (SUS 316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																															
・防鳥網	ステンレス (SUS 304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																																															
材 料	めっき付着量	厚 さ																																																																																																																																																																
○JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)	※Z12又はF12	※標準仕様書表16.4.2による																																																																																																																																																																
・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)	※Y08																																																																																																																																																																	
9 ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4)	<p>性能等級</p> <p>簡易気密型 ・適用する (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・S-5 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・S-6 (建具符号: ※建具表による)</p> <p>・防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・断熱ドアセット・断熱サッシ 断熱性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>・耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 ()</p> <p>(建具符号: ※建具表による)</p> <p>鋼板 (屋外) ※SUS 430JIL, SUS 443J1, SUS 304</p> <p>鋼板 (屋内) ※SUS 430, SUS 430JIL, SUS 443J1, SUS 304</p> <p>表面仕上げ ※HL ・鏡面</p> <p>ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※B種</p> <p>建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>・フラッシュ戸</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>樹種・規格等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板 ⑤</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※7/10合板程度) <p>不透明塗料塗り (※しな合板程度)</p> <p>板面の品質 ()</p> <p>接着の程度 (・1類 ・2類)</p> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板 ⑥</td> <td>樹種名 () <p>接着の程度 (・1類 ・2類)</p> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 ⑦</td> <td>化粧加工の方法 (・オーバレイ ・プリント ・塗装) <p>表面性能 () タイプ</p> <p>接着の程度 (・1類 ・2類)</p> </td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ※表16.7.6による</p> <p>・かまち戸</p> <p>かまち樹種 () 鏡板樹種 ()</p> <p>見込み寸法 ※36mm ・建具表による</p> <p>・ふすま</p> <p>張りの種別 (・I型 ・II型)</p> <p>上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度</p> <p>縁上子 ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装)</p> <p>見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</p> <p>・戸ふすま</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>・紙張り障子</p> <p>見込み寸法 ※30mm ・建具表による</p> <p>枠、くつずりの材料 ・建具表による</p> <p>⑩ 建具用金物 (16.8.2.3)</p> <p>金物の種類・見え掛り部の材質等</p> <p>※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置</p> <p>○建具表による</p> <p>錠前類</p> <p>○建具表による</p> <p>クローザ類</p> <p>○建具表による</p> <p>⑪ 鍵 (16.8.4)</p> <p>マスターキー ○製作する ・製作しない</p> <p>その他の鍵 ※各室3本1組</p> <p>鍵箱 ※有り ・無し</p> <p>⑫ 自動ドア開閉装置 (16.9.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>自動ドア</th> <th>性能</th> <th>防 錆</th> <th>センサーの種類</th> <th>凍結防止</th> </tr> <tr> <td>・SSLD-1</td> <td>※標準仕様書表16.9.11による</td> <td></td> <td>・マッドスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SSLD-2</td> <td></td> <td></td> <td>・光線 (直射) スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・DSL-1</td> <td></td> <td></td> <td>・熱線スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・DSL-2</td> <td></td> <td></td> <td>・音波スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SMD-1</td> <td>※標準仕様書表16.9.21による</td> <td>○適用する</td> <td>・光電スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SMD-1</td> <td></td> <td>・適用しない</td> <td>・電波スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○タッチスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○押しボタンスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○ペダルスイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○多機能トイレスイッチ</td> <td></td> </tr> </table> <p>○図示</p> <p>⑬ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)</p> <p>性能 ※標準仕様書表16.10.11による</p> <p>⑭ 重量シャッター (16.11.2.3)</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m²</p> <p>・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m²</p> <p>○屋内用防火シャッター</p> <p>・防煙シャッター</p> <p>開閉機能による種類 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式</p> <p>シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっきの付着量 ※Z12又はF12</p>	合板の種類	樹種・規格等	備 考	・普通合板 ⑤	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※7/10合板程度) <p>不透明塗料塗り (※しな合板程度)</p> <p>板面の品質 ()</p> <p>接着の程度 (・1類 ・2類)</p>		・天然木化粧合板 ⑥	樹種名 () <p>接着の程度 (・1類 ・2類)</p>		・特殊加工化粧合板 ⑦	化粧加工の方法 (・オーバレイ ・プリント ・塗装) <p>表面性能 () タイプ</p> <p>接着の程度 (・1類 ・2類)</p>		自動ドア	性能	防 錆	センサーの種類	凍結防止	・SSLD-1	※標準仕様書表16.9.11による		・マッドスイッチ		・SSLD-2			・光線 (直射) スイッチ		・DSL-1			・熱線スイッチ		・DSL-2			・音波スイッチ		・SMD-1	※標準仕様書表16.9.21による	○適用する	・光電スイッチ		・SMD-1		・適用しない	・電波スイッチ					○タッチスイッチ					○押しボタンスイッチ					○ペダルスイッチ					○多機能トイレスイッチ																																																																																															
合板の種類	樹種・規格等	備 考																																																																																																																																																																
・普通合板 ⑤	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※7/10合板程度) <p>不透明塗料塗り (※しな合板程度)</p> <p>板面の品質 ()</p> <p>接着の程度 (・1類 ・2類)</p>																																																																																																																																																																	
・天然木化粧合板 ⑥	樹種名 () <p>接着の程度 (・1類 ・2類)</p>																																																																																																																																																																	
・特殊加工化粧合板 ⑦	化粧加工の方法 (・オーバレイ ・プリント ・塗装) <p>表面性能 () タイプ</p> <p>接着の程度 (・1類 ・2類)</p>																																																																																																																																																																	
自動ドア	性能	防 錆	センサーの種類	凍結防止																																																																																																																																																														
・SSLD-1	※標準仕様書表16.9.11による		・マッドスイッチ																																																																																																																																																															
・SSLD-2			・光線 (直射) スイッチ																																																																																																																																																															
・DSL-1			・熱線スイッチ																																																																																																																																																															
・DSL-2			・音波スイッチ																																																																																																																																																															
・SMD-1	※標準仕様書表16.9.21による	○適用する	・光電スイッチ																																																																																																																																																															
・SMD-1		・適用しない	・電波スイッチ																																																																																																																																																															
			○タッチスイッチ																																																																																																																																																															
			○押しボタンスイッチ																																																																																																																																																															
			○ペダルスイッチ																																																																																																																																																															
			○多機能トイレスイッチ																																																																																																																																																															
16 建具工事 (続き)	<p>⑬ 軽量シャッター (16.12.2~4)</p> <p>開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用)</p> <p>耐風圧強度 () N/m²</p> <p>スラットの材質</p> <p>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっき付着量 (※Z06又はF06)</p> <p>・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合めっき鋼板及び鋼帯)</p> <p>めっき付着量 (※AZ90)</p> <p>スラットの形状 ・インターロックング形 ・オーバーラッピング形</p> <p>⑭ オーバーヘッドドア (16.13.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧 (Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>○125</td> <td>※バランス式</td> <td>○スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・100</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>○ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・50</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・パーチカル形</td> <td></td> </tr> </table> <p>○図示</p> <p>(9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1)</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表による。</p> <p>・合わせガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>構成種類</th> <th>性 能</th> </tr> <tr> <td>・フロート合わせガラス</td> <td>・フロート板合わせガラス</td> <td>・I類</td> </tr> <tr> <td>・網入層き合わせガラス</td> <td>・熱線吸収フロート板合わせガラス</td> <td>・II-1類 ・II-2類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・網入層き、フロート板合わせガラス</td> <td>・II-1類 ・II-2類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・網入層き、熱線吸収板合わせガラス</td> <td>・III類</td> </tr> </table> <p>⑮ 強化ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>材料ガラスによる種類</th> <th>種 類</th> <th>性 能</th> </tr> <tr> <td>○フロートガラス</td> <td>○フロート強化ガラス</td> <td rowspan="2">・I類 ・III類</td> </tr> <tr> <td>○型板ガラス</td> <td>○熱線吸収強化ガラス</td> </tr> </table> <p>・熱線吸収板ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品 種</th> <th>性 能</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・1種 ・2種</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入層き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・複層ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品 類</th> <th>断熱性</th> <th>日射熱遮へい性</th> </tr> <tr> <td>・1種</td> <td></td> <td>U1</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td></td> <td>U2</td> </tr> <tr> <td>・3種</td> <td></td> <td>U-3-1 ・U-3-2</td> </tr> <tr> <td>・4種</td> <td></td> <td>E4</td> </tr> <tr> <td>・5種</td> <td></td> <td>E5</td> </tr> </table> <p>・熱線反射ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>品 類</th> <th>日射遮へい性</th> <th>耐久性</th> </tr> <tr> <td>・熱線反射ガラス</td> <td>・1種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>色調 (・ブルー ・グレー)</td> <td>・2種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・高性能熱線反射ガラス</td> <td>・3種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td>色調 (・ブロンズ ・シルバー)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>反射被覆面 ・内面 ・外面</p> <p>映像調整 ・行わない ・行う</p> <p>・倍強度ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>材料ガラスによる種類の名称</th> <th>色 調</th> </tr> <tr> <td>・フロート倍強度ガラス</td> <td>ー</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収倍強度ガラス</td> <td>・グレー ・ブルー ・ブロンズ</td> </tr> </table> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">アルミニウム製</td> <td>○シーリング材</td> <td>※標準仕様書表16.14.11による</td> </tr> <tr> <td>・ガasket</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鋼製及び鋼製軽量</td> <td>○シーリング材</td> <td>※標準仕様書表16.14.11による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ステンレス製</td> <td>○シーリング材</td> <td>※標準仕様書表16.14.11による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>⑯ ガラスブロック (16.14.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法</th> <th>厚 さ</th> <th>色 調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・正方形</td> <td>・125×125</td> <td>80</td> <td>・</td> <td>※8~15</td> <td>※15以下</td> <td>※6m以下</td> <td rowspan="4">※無し ・有り</td> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・320×320</td> <td>95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・長方形</td> <td>・250×125</td> <td>80</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・320×160</td> <td>95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。</p> <p>壁用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示)</p> <p>・設けない</p> <p>カ骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS 304)</p> <p>寸法 ※径5.5mm</p> <p>形状 ※はしご形状補筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 ()</p> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製</p> <p>寸法 ※図示</p> <p>形状 ※図示</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <p>※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法)</p> <p>・適用しない</p> <p>目地部のカ骨の補強方法</p> <p>※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p>	セクション材料による区分	耐風圧 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ	○125	※バランス式	○スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	○ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・50	・電動式	・ハイリフト形					・パーチカル形		品 種	構成種類	性 能	・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス	・I類	・網入層き合わせガラス	・熱線吸収フロート板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類		・網入層き、フロート板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類		・網入層き、熱線吸収板合わせガラス	・III類	材料ガラスによる種類	種 類	性 能	○フロートガラス	○フロート強化ガラス	・I類 ・III類	○型板ガラス	○熱線吸収強化ガラス	品 種	性 能	色 調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	・熱線吸収網入層き板ガラス			品 類	断熱性	日射熱遮へい性	・1種		U1	・2種		U2	・3種		U-3-1 ・U-3-2	・4種		E4	・5種		E5	品 類	日射遮へい性	耐久性	・熱線反射ガラス	・1種	A種	色調 (・ブルー ・グレー)	・2種	・A種 ・B種	・高性能熱線反射ガラス	・3種	B種	色調 (・ブロンズ ・シルバー)			材料ガラスによる種類の名称	色 調	・フロート倍強度ガラス	ー	・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	○シーリング材	※標準仕様書表16.14.11による	・ガasket	・図示	鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	※標準仕様書表16.14.11による	・	・図示	ステンレス製	○シーリング材	※標準仕様書表16.14.11による	・	・図示	表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調	目地幅 (mm)	目地幅 (mm)	伸縮調整目地 (mm)	防火性能	・正方形	・125×125	80	・	※8~15	※15以下	※6m以下	※無し ・有り	・160×160	95	・	・	・	・	・200×200	95	・	・	・	・	・320×320	95	・	・	・	・	・長方形	・250×125	80	・	・	・	・	・320×160	95	・	・	・	・
セクション材料による区分	耐風圧 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																																																																																																																														
※スチールタイプ	○125	※バランス式	○スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板																																																																																																																																																														
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	○ステンレス鋼板																																																																																																																																																														
・ファイバーグラスタイプ	・50	・電動式	・ハイリフト形																																																																																																																																																															
			・パーチカル形																																																																																																																																																															
品 種	構成種類	性 能																																																																																																																																																																
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス	・I類																																																																																																																																																																
・網入層き合わせガラス	・熱線吸収フロート板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類																																																																																																																																																																
	・網入層き、フロート板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類																																																																																																																																																																
	・網入層き、熱線吸収板合わせガラス	・III類																																																																																																																																																																
材料ガラスによる種類	種 類	性 能																																																																																																																																																																
○フロートガラス	○フロート強化ガラス	・I類 ・III類																																																																																																																																																																
○型板ガラス	○熱線吸収強化ガラス																																																																																																																																																																	
品 種	性 能	色 調																																																																																																																																																																
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																																																																																																																																																
・熱線吸収網入層き板ガラス																																																																																																																																																																		
品 類	断熱性	日射熱遮へい性																																																																																																																																																																
・1種		U1																																																																																																																																																																
・2種		U2																																																																																																																																																																
・3種		U-3-1 ・U-3-2																																																																																																																																																																
・4種		E4																																																																																																																																																																
・5種		E5																																																																																																																																																																
品 類	日射遮へい性	耐久性																																																																																																																																																																
・熱線反射ガラス	・1種	A種																																																																																																																																																																
色調 (・ブルー ・グレー)	・2種	・A種 ・B種																																																																																																																																																																
・高性能熱線反射ガラス	・3種	B種																																																																																																																																																																
色調 (・ブロンズ ・シルバー)																																																																																																																																																																		
材料ガラスによる種類の名称	色 調																																																																																																																																																																	
・フロート倍強度ガラス	ー																																																																																																																																																																	
・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ																																																																																																																																																																	
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																																																
アルミニウム製	○シーリング材	※標準仕様書表16.14.11による																																																																																																																																																																
	・ガasket	・図示																																																																																																																																																																
鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	※標準仕様書表16.14.11による																																																																																																																																																																
	・	・図示																																																																																																																																																																
ステンレス製	○シーリング材	※標準仕様書表16.14.11による																																																																																																																																																																
	・	・図示																																																																																																																																																																
表面形状	呼び寸法	厚 さ	色 調	目地幅 (mm)	目地幅 (mm)	伸縮調整目地 (mm)	防火性能																																																																																																																																																											
・正方形	・125×125	80	・	※8~15	※15以下	※6m以下	※無し ・有り																																																																																																																																																											
	・160×160	95	・	・	・	・																																																																																																																																																												
	・200×200	95	・	・	・	・																																																																																																																																																												
	・320×320	95	・	・	・	・																																																																																																																																																												
・長方形	・250×125	80	・	・	・	・																																																																																																																																																												
	・320×160	95	・	・	・	・																																																																																																																																																												

20 ユニット及びその他の工事	⑫ 断熱材	<p>ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <p>・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ビーズ法が「気泡フォーム断熱材」</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ビーズ法が「気泡フォーム断熱材」</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・押出法が「気泡フォーム断熱材」(スチレンなし)</td> <td>・保温板 (2種b)</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・押出法が「気泡フォーム断熱材」(スチレンなし)</td> <td>・保温板 (3種b)</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>○押出法が「気泡フォーム断熱材」(スチレンなし)</td> <td>○図示</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・A種硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ポリウレタン断熱材</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ポリウレタン保温材 (3種2号を除く)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>○断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ B種1 厚さ (mm) ○20 ・ 25 ・ 30 施工箇所 ○図示 ○外壁</p>	種類	厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法が「気泡フォーム断熱材」	・	・	・ビーズ法が「気泡フォーム断熱材」	・	・	・押出法が「気泡フォーム断熱材」(スチレンなし)	・保温板 (2種b)	・25	・押出法が「気泡フォーム断熱材」(スチレンなし)	・保温板 (3種b)	・25	○押出法が「気泡フォーム断熱材」(スチレンなし)	○図示	○図示	・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	・A種硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・	・ポリウレタン断熱材	・	・	・ポリウレタン保温材 (3種2号を除く)	・	・						
	種類	厚さ (mm)	施工箇所																																			
	・ビーズ法が「気泡フォーム断熱材」	・	・																																			
	・ビーズ法が「気泡フォーム断熱材」	・	・																																			
	・押出法が「気泡フォーム断熱材」(スチレンなし)	・保温板 (2種b)	・25																																			
・押出法が「気泡フォーム断熱材」(スチレンなし)	・保温板 (3種b)	・25																																				
○押出法が「気泡フォーム断熱材」(スチレンなし)	○図示	○図示																																				
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・																																				
・A種硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・																																				
・ポリウレタン断熱材	・	・																																				
・ポリウレタン保温材 (3種2号を除く)	・	・																																				
① フリーアクセスフロア	<p>施工箇所 構造 寸法 (mm) 高さ (mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備考</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・置敷式</td> <td>・</td> <td>○500×500</td> <td>・1.0G</td> <td>○3,000N</td> <td>○断電防止床タイル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・支柱調整式</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○0.6G</td> <td>○5,000N</td> <td>○タイルカーペット</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○溝構造</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(b)(5)(i)～(iii)による 厚さ ±0.5mm 平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下 圆心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下</p> <p>表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ:) スロープ及びボデー ・製造所の仕様による ○図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20～30パーセント</p> <p>配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上 ○図示</p> <p>空調用吹き出し (吸い込み) パネル ・なし ・あり (形式、施工箇所: 図示)</p>	・置敷式	・	○500×500	・1.0G	○3,000N	○断電防止床タイル	・	・支柱調整式	・	○	○0.6G	○5,000N	○タイルカーペット	・	○溝構造	・	○	○	○	・	・																
・置敷式	・	○500×500	・1.0G	○3,000N	○断電防止床タイル	・																																
・支柱調整式	・	○	○0.6G	○5,000N	○タイルカーペット	・																																
○溝構造	・	○	○	○	・	・																																
2 可動間仕切	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th rowspan="2">構成機材の種類</th> <th rowspan="2">総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">表面仕上材</th> <th rowspan="2">遮音性能 (dB/500Hz)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・スタッド式 (内蔵)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・鋼板</td> <td>・メラミン樹脂 焼付又はアクリル樹脂焼付け</td> <td>・0 ・12 ・20</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・スタッド式 (露出)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・28</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・スタッドパネル式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・36</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・パネル式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル内に取付ける建具・あり (※図示) ・なし 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネルの材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p>	構造形式	構成機材の種類	総厚さ (mm)	表面仕上材		遮音性能 (dB/500Hz)	防火性能	材質	厚さ (mm)	・スタッド式 (内蔵)	・	・	・鋼板	・メラミン樹脂 焼付又はアクリル樹脂焼付け	・0 ・12 ・20	・不燃	・スタッド式 (露出)	・	・	・	・	・28	・	・スタッドパネル式	・	・	・	・	・36	・	・パネル式	・	・	・	・	・	・
構造形式	構成機材の種類				総厚さ (mm)	表面仕上材			遮音性能 (dB/500Hz)	防火性能																												
		材質	厚さ (mm)																																			
・スタッド式 (内蔵)	・	・	・鋼板	・メラミン樹脂 焼付又はアクリル樹脂焼付け	・0 ・12 ・20	・不燃																																
・スタッド式 (露出)	・	・	・	・	・28	・																																
・スタッドパネル式	・	・	・	・	・36	・																																
・パネル式	・	・	・	・	・	・																																
3 移動間仕切	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">走行方向</th> <th rowspan="2">操作方法</th> <th rowspan="2">圧縮装置の操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">表面仕上材</th> <th rowspan="2">遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>パネル表面仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平行方向</td> <td>・手動式</td> <td>・フッシュ式</td> <td>・</td> <td>・鋼板</td> <td>・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> <tr> <td>・移動式</td> <td>・電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・二方向</td> <td>・部分電動式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・移動式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ○図示</p>	走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上材		遮音性 (dB/500Hz)	材質	パネル表面仕上げ	・平行方向	・手動式	・フッシュ式	・	・鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	・移動式	・電動式	・ハンドル式	・	・	・	・	・二方向	・部分電動式	・	・	・	・	・	・移動式	・	・	・	・	・	・
走行方向	操作方法					圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)		表面仕上材		遮音性 (dB/500Hz)																											
		材質	パネル表面仕上げ																																			
・平行方向	・手動式	・フッシュ式	・	・鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																
・移動式	・電動式	・ハンドル式	・	・	・	・																																
・二方向	・部分電動式	・	・	・	・	・																																
・移動式	・	・	・	・	・	・																																
④ トイレブース	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">表面材の材質</th> <th rowspan="2">脚部</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>・標準</td> <td>○アルミニウム製</td> </tr> <tr> <td>○ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>・</td> <td>○R</td> <td>・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p>	表面材の材質	脚部	ドアエッジ		形状	材質	・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・標準	○アルミニウム製	○ポリエステル樹脂系化粧板	・	○R	・ステンレス製 ・表面材と同材																							
表面材の材質	脚部			ドアエッジ																																		
		形状	材質																																			
・メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・標準	○アルミニウム製																																			
○ポリエステル樹脂系化粧板	・	○R	・ステンレス製 ・表面材と同材																																			
5 視覚障害者用床タイル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">屋内</td> <td>・塩化ビニル製</td> <td>・300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・磁器質タイル (I類)</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・せっ器質タイル (II類)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">屋外</td> <td>・磁器質タイル (I類)</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・せっ器質タイル (II類)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>・300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート製</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>ブロックパターンは JIS T 9251 による</p>	施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0	・磁器質タイル (I類)	・300×300	・	・せっ器質タイル (II類)	・	・	・レジンコンクリート製	・300×300	・	屋外	・磁器質タイル (I類)	・300×300	・	・せっ器質タイル (II類)	・	・	・レジンコンクリート製	・300×300	・	・コンクリート製	・	・							
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																			
屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0																																			
	・磁器質タイル (I類)	・300×300	・																																			
	・せっ器質タイル (II類)	・	・																																			
	・レジンコンクリート製	・300×300	・																																			
屋外	・磁器質タイル (I類)	・300×300	・																																			
	・せっ器質タイル (II類)	・	・																																			
	・レジンコンクリート製	・300×300	・																																			
	・コンクリート製	・	・																																			

⑥ 階段降り止め	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>幅 (mm)</th> <th>取付け工法</th> <th>端部フラットエンド</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ステンレス製 (SUS 304)</td> <td>・約35</td> <td>※接着工法</td> <td>○あり ・ビニル製 ・ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・ビニルタイヤ入り</td> <td>○図示</td> <td>・埋込み工法</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>○図示</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・なし</td> </tr> </tbody> </table>	材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド	・ステンレス製 (SUS 304)	・約35	※接着工法	○あり ・ビニル製 ・ステンレス製	・ビニルタイヤ入り	○図示	・埋込み工法	○図示	○図示	・	・	・なし																										
材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド																																								
・ステンレス製 (SUS 304)	・約35	※接着工法	○あり ・ビニル製 ・ステンレス製																																								
・ビニルタイヤ入り	○図示	・埋込み工法	○図示																																								
○図示	・	・	・なし																																								
⑦ 手すり	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※集成材</td> <td>・クリヤラッカー</td> <td>・35 ・45</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ステンレスパイプ</td> <td>・HL</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・鋼製パイプ</td> <td>・EP-G ・SOP</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ビニル製ハンドレール</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考	※集成材	・クリヤラッカー	・35 ・45	・	・	・ステンレスパイプ	・HL	・	・	・	・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP	・	・	・	○ビニル製ハンドレール	・	・	・	・																	
材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考																																							
※集成材	・クリヤラッカー	・35 ・45	・	・																																							
・ステンレスパイプ	・HL	・	・	・																																							
・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP	・	・	・																																							
○ビニル製ハンドレール	・	・	・	・																																							
⑧ 黒板及びホワイトボード	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>色</th> <th>形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・黒板</td> <td>※焼付け</td> <td>※緑 ・黒</td> <td>・平面 ・スクリーン付き引分け</td> </tr> <tr> <td>○ホワイトボード</td> <td>※ほうろう</td> <td>白</td> <td>・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面</td> </tr> </tbody> </table>	種類	寸法 (mm)	色	形式	・黒板	※焼付け	※緑 ・黒	・平面 ・スクリーン付き引分け	○ホワイトボード	※ほうろう	白	・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面																														
種類	寸法 (mm)	色	形式																																								
・黒板	※焼付け	※緑 ・黒	・平面 ・スクリーン付き引分け																																								
○ホワイトボード	※ほうろう	白	・平面 ・スクリーン付き引分け ・曲面																																								
⑨ 鏡	<p>取付箇所 ()</p> <p>寸法 (mm) ○図示</p> <p>厚さ (mm) ※5</p>																																										
⑩ 表示	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・衝突防止表示 (平面・片面)</td> <td>・ステンレス製</td> <td>・30φ</td> <td>・</td> <td>・市販品</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>○室名札</td> <td>・アクリル板</td> <td>○図示</td> <td>・5</td> <td>○図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ピクトグラフ</td> <td>・アクリル板</td> <td>○図示</td> <td>・5</td> <td>○図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・とびら番号</td> <td>・アクリル板</td> <td>・図示</td> <td>・5</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・庁舎案内板</td> <td>・アクリル板</td> <td>・図示</td> <td>・5</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○各階案内板</td> <td>・アクリル板</td> <td>○図示</td> <td>・5</td> <td>○図示</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とする。 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。</p>	区分	材質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	備考	・衝突防止表示 (平面・片面)	・ステンレス製	・30φ	・	・市販品	・図示	○室名札	・アクリル板	○図示	・5	○図示	・	○ピクトグラフ	・アクリル板	○図示	・5	○図示	・	・とびら番号	・アクリル板	・図示	・5	・図示	・	・庁舎案内板	・アクリル板	・図示	・5	・図示	・	○各階案内板	・アクリル板	○図示	・5	○図示	・
区分	材質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	備考																																						
・衝突防止表示 (平面・片面)	・ステンレス製	・30φ	・	・市販品	・図示																																						
○室名札	・アクリル板	○図示	・5	○図示	・																																						
○ピクトグラフ	・アクリル板	○図示	・5	○図示	・																																						
・とびら番号	・アクリル板	・図示	・5	・図示	・																																						
・庁舎案内板	・アクリル板	・図示	・5	・図示	・																																						
○各階案内板	・アクリル板	○図示	・5	○図示	・																																						
⑪ 煙突ライニング	<p>煙突用成形ライニング材 ○適用する ・適用しない</p> <p>適用安全使用温度 ・400℃ ○650℃</p> <p>○キャスタブル耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする</p>																																										
12 ブラインド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックス・レールの材質</th> <th>寸法・取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・横型</td> <td>・手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・手動</td> <td>※2本操作コード ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>・電動</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	寸法・取付箇所	・横型	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金	※25	※鋼製	○図示	・縦型	・手動	※2本操作コード ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	○図示	・電動	・	・	・	・	・	・														
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	寸法・取付箇所																																					
・横型	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金	※25	※鋼製	○図示																																					
・縦型	・手動	※2本操作コード ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	○図示																																					
・電動	・	・	・	・	・	・																																					
13 ロールスクリーン	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ポリエステル</td> <td>・電動式</td> <td>・1級</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・スプリング式</td> <td>・2級</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・チェーン式</td> <td>・3級</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。</p>	材種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ポリエステル	・電動式	・1級	・図示	・図示	・	・	・スプリング式	・2級	・	・	・	・	・チェーン式	・3級	・	・	・																		
材種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考																																						
・ポリエステル	・電動式	・1級	・図示	・図示	・																																						
・	・スプリング式	・2級	・	・	・																																						
・	・チェーン式	・3級	・	・	・																																						
14 カーテン	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シングル</td> <td>・片引き</td> <td>・手引き</td> <td>・フラスヒダ</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・ダブル</td> <td>・引分け</td> <td>・ひも引き</td> <td>・箱ひだ、つまひだ</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・電動</td> <td>・プレーンひだ、片ひだ</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については</p> <p>暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル	・片引き	・手引き	・フラスヒダ	・	・図示	・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ	・	・	・	・電動	・プレーンひだ、片ひだ	・	・	・																		
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																						
・シングル	・片引き	・手引き	・フラスヒダ	・	・図示																																						
・ダブル	・引分け	・ひも引き	・箱ひだ、つまひだ	・	・																																						
・	・電動	・プレーンひだ、片ひだ	・	・	・																																						
⑮ カーテンレール	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>・シングル</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>○ダブル</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>強さによる区分</td> <td>※ 10-90</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>仕上げ</td> <td>※アルマイト</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>※角形</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	材種	形式	寸法 (mm)	厚さ (mm)	※アルミニウム製	・シングル	・	・	・ステンレス製	○ダブル	・	・	強さによる区分	※ 10-90	・	・	仕上げ	※アルマイト	・	・	形状	※角形	・	・																		
材種	形式	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																								
※アルミニウム製	・シングル	・	・																																								
・ステンレス製	○ダブル	・	・																																								
強さによる区分	※ 10-90	・	・																																								
仕上げ	※アルマイト	・	・																																								
形状	※角形	・	・																																								

⑯ ブラインドボックス及びカーテンボックス	<p>溝幅×深さ (mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示</p> <p>材質 ・集成材 (仕上げ:) ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)</p> <p>表面処理 ・C-1 ・C-2 (アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)</p> <p>皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による ・鋼製 (仕上げ:)</p>																												
⑰ 天井点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>○450×450 ○600×600</td> <td>○一般形 ○密閉形</td> <td>○屋内外用 ○屋内用</td> <td>○隠線タイプ ○目地タイプ</td> </tr> </tbody> </table>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	・アルミニウム製	○450×450 ○600×600	○一般形 ○密閉形	○屋内外用 ○屋内用	○隠線タイプ ○目地タイプ																		
材種	寸法	形式	外枠	内枠																									
・アルミニウム製	○450×450 ○600×600	○一般形 ○密閉形	○屋内外用 ○屋内用	○隠線タイプ ○目地タイプ																									
⑱ 床点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・450×450</td> <td>・一般形</td> <td>○屋内外用 ○隠線タイプ</td> </tr> <tr> <td>○ステンレス製</td> <td>○600×600</td> <td>○密閉形</td> <td>○屋内用 ○隠線タイプ</td> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・</td> <td>・結露防止形</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	材種	寸法	形式	備考	・アルミニウム製	・450×450	・一般形	○屋内外用 ○隠線タイプ	○ステンレス製	○600×600	○密閉形	○屋内用 ○隠線タイプ	・鋼製	・	・結露防止形	・												
材種	寸法	形式	備考																										
・アルミニウム製	・450×450	・一般形	○屋内外用 ○隠線タイプ																										
○ステンレス製	○600×600	○密閉形	○屋内用 ○隠線タイプ																										
・鋼製	・	・結露防止形	・																										
19 耐震スリット	<table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・垂直方法</td> <td>・完全 (全貫通型)</td> <td>・耐火型</td> <td>・有り</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・水平方向</td> <td>・</td> <td>・非耐火型</td> <td>・無し</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目地</th> <th>内壁</th> <th>外壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シーリング材 (見え掛り部のみ)</td> <td>・シーリング材 (見え掛り部のみ)</td> <td>・シーリング材 (内外とも)</td> </tr> </tbody> </table> <p>目地寸法 (mm) ※幅20×深さ10 ・ ※幅20×深さ10</p> <p>目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による</p>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直方法	・完全 (全貫通型)	・耐火型	・有り	・	・水平方向	・	・非耐火型	・無し	・	目地	内壁	外壁	・シーリング材 (見え掛り部のみ)	・シーリング材 (見え掛り部のみ)	・シーリング材 (内外とも)							
方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																									
・垂直方法	・完全 (全貫通型)	・耐火型	・有り	・																									
・水平方向	・	・非耐火型	・無し	・																									
目地	内壁	外壁																											
・シーリング材 (見え掛り部のみ)	・シーリング材 (見え掛り部のみ)	・シーリング材 (内外とも)																											
20 止水板	<p>形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式</p> <p>施工箇所 ○図示</p>																												
21 エキスパンションジョイント金物	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>クリアランス</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・50</td> <td>・有り ()</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・150</td> <td>・無し</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>外部は防水型とする</p>	材種	クリアランス	耐火性能	備考	・アルミニウム製	・50	・有り ()	・	・ステンレス製	・150	・無し	・																
材種	クリアランス	耐火性能	備考																										
・アルミニウム製	・50	・有り ()	・																										
・ステンレス製	・150	・無し	・																										
22 くつきマット	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製</td> <td>・ステンレス鋼 (SUS 304)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・硬質アルミニウム合金製</td> <td>・硬質アルミニウム合金</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼 (SUS 304) 製</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	材種	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼 (SUS 304)	・	・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金	・	・ステンレス鋼 (SUS 304) 製	・	・																
材種	受け枠	備考																											
・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼 (SUS 304)	・																											
・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金	・																											
・ステンレス鋼 (SUS 304) 製	・	・																											
⑳ 流し台ユニット	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○流し台</td> <td>・1200 ・1500 ・1800</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・800 ・850</td> <td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・620 ・670</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>○つり戸棚</td> <td>・1200 ・900</td> <td>・450</td> <td>・500 ・700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>市販品 ステンレス製 ・1段式</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質・性能 JIS A 4420による 形状 ○図示</p>	材種	寸法 (mm)			備考	W	D	H	○流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	○つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品	・水切り	・1200 ・900 ・600	・	・	市販品 ステンレス製 ・1段式
材種	寸法 (mm)			備考																									
	W	D	H																										
○流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																									
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																									
○つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品																									
・水切り	・1200 ・900 ・600	・	・	市販品 ステンレス製 ・1段式																									
24 旗竿	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ (m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・テーパー型 ・同一断面型</td> <td>・</td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・テーパー型 ・同一断面型	・	・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	・																
材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考																								
・アルミニウム合金製	・テーパー型 ・同一断面型	・	・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	・																								
25 旗竿受金物	<p>材質 ・ステンレス製 (SUS 304)</p>																												
⑳ 車止め支柱	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径・肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○上下式鋼内蔵型</td> <td>○標準品</td> <td>○ステンレス製</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・スプリング式</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	形式	材種	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	○上下式鋼内蔵型	○標準品	○ステンレス製	・	・	・スプリング式	・	・																
形式	材種	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																										
○上下式鋼内蔵型	○標準品	○ステンレス製	・																										
・	・スプリング式	・	・																										
㉑ フェンス	<p>フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス</p> <p>高さ ・図示</p>																												
28 ブレキャストコンクリート	<p>コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³を満足する調合強度 ・図示</p> <p>配筋 ※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・図示</p> <p>取付け方法 ※図示</p>																												

20 ユニット及びその他の工事 (続き)	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み積み	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・A ・B</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>積み方 ※容積み ・布積み 目録り ・図示 伸縮目地 材質 ・図示 厚さ ・図示</p>	材種	材種	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・	・	・コンクリート間知ブロック	・	・	・A ・B	・										
	材種	材種	種類	質量区分	備考																						
	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	・	・	・																						
	・コンクリート間知ブロック	・	・	・A ・B	・																						
	30 鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>耐荷重による種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鋼製書架</td> <td>JIS S 1039による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td>・</td> <td>・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </tbody> </table> <p>枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</p> <p>材質 ○メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ・人工大理石 奥行き (mm) ○約450 ・約600</p>	種類	規格等	耐荷重による種類	・鋼製書架	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種	・鋼製物品棚	・	・4種 ・5種 ・6種																
種類	規格等	耐荷重による種類																									
・鋼製書架	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種																									
・鋼製物品棚	・	・4種 ・5種 ・6種																									
① 屋内掲示板	<p>・固定式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> <tr> <td>・網入り磨き板ガラス</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不織布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込み型) ・可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・800</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </tbody> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込み型)</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※網入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	・網入り磨き板ガラス	・	・	・	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不織布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込み型) ・可動式 (天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り		
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																								
※網入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																								
・網入り磨き板ガラス	・	・	・																								
種類	材質	高さ (mm)	備考																								
・垂直降下式 (巻取り型)	※不織布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込み型) ・可動式 (天井収納型)																								
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り																								
㉒ 洗面カウンター	<p>材質 ○図示 (12.2.2) (19.7.2)</p> <p>形状・寸法 ※図示</p> <p>合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種</p>																										
33 防煙垂れ壁	<p>照明器具 ※有り ・無し 施錠 ※有り ・無し</p> <p>種類 ※コンクリートブロック製 (市販品) ・花こう石類 (文字記号等入り)</p> <p>設置方法 根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地層を行い、コンクリートで覆巻きして建て込む。建込みは監督職員の立会いのもと行う。 コンクリートの調合 (容積比) セメント1 : 砂2 : 砂利4程度</p>																										
㉓ 収納家具	<p>材質 ○図示 (12.2.2) (19.7.2)</p> <p>形状・寸法 ※図示</p> <p>合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種</p>																										
35 屋外掲示板	<p>照明器具 ※有り ・無し 施錠 ※有り ・無し</p>																										
㉔ 敷地境界石標	<p>種類 ※コンクリートブロック製 (市販品) ・花こう石類 (文字記号等入り)</p> <p>設置方法 根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地層を行い、コンクリートで覆巻きして建て込む。建込みは監督職員の立会いのもと行う。 コンクリートの調合 (容積比) セメント1 : 砂2 : 砂利4程度</p>																										
21 排水工事	① 屋外雨水排水	<p>排水管材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>○硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>○NP</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・VU</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>・DV</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ・図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側溝の形状及び寸法 ・図示 排水網の種類 ・図示 砂地層に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.1) (g) (1) ・図示 砂利地層に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.1) (g) (2) ・図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14) 設計基準強度N/mm²とする。 ただし、コンクリートが簡易な場合の調合 (容積比) セメント1 : 砂2 : 砂利4程度とする。 ・図示</p> <p>・凍上抑制層 (21.2.1) (表21.2.2) 厚さ ・図示 材料 ・再生クラッシュチャラン ・クラッシュチャラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p>	材種	管の種類	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・	・図示	○硬質ポリ塩化ビニル管	○NP	・	・	・図示	・	・VU	・	・	・図示	・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV	・	・	・図示
	材種	管の種類	形状	呼び径	備考																						
	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管	・	・図示																						
	○硬質ポリ塩化ビニル管	○NP	・	・	・図示																						
	・	・VU	・	・	・図示																						
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV	・	・	・図示																							
② 鉄鉄製ふた	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄製マンホールふた</td> <td>○水封形 ・筒型密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)</td> <td>○T-2用 ○T-6用 ○T-20用</td> <td>○有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による</td> </tr> </tbody> </table>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鉄製マンホールふた	○水封形 ・筒型密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	○T-2用 ○T-6用 ○T-20用	○有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による																
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																							
鉄製マンホールふた	○水封形 ・筒型密閉形 (パッキン式) ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパー・パッキン式)	○T-2用 ○T-6用 ○T-20用	○有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会SHASE-S209による																							
③ 排水工事	<p>20.3.3.4</p>																										
④ 排水工事	<p>21.2.1) (表21.2.1)</p>																										
⑤ 排水工事	<p>21.2.1)</p>																										

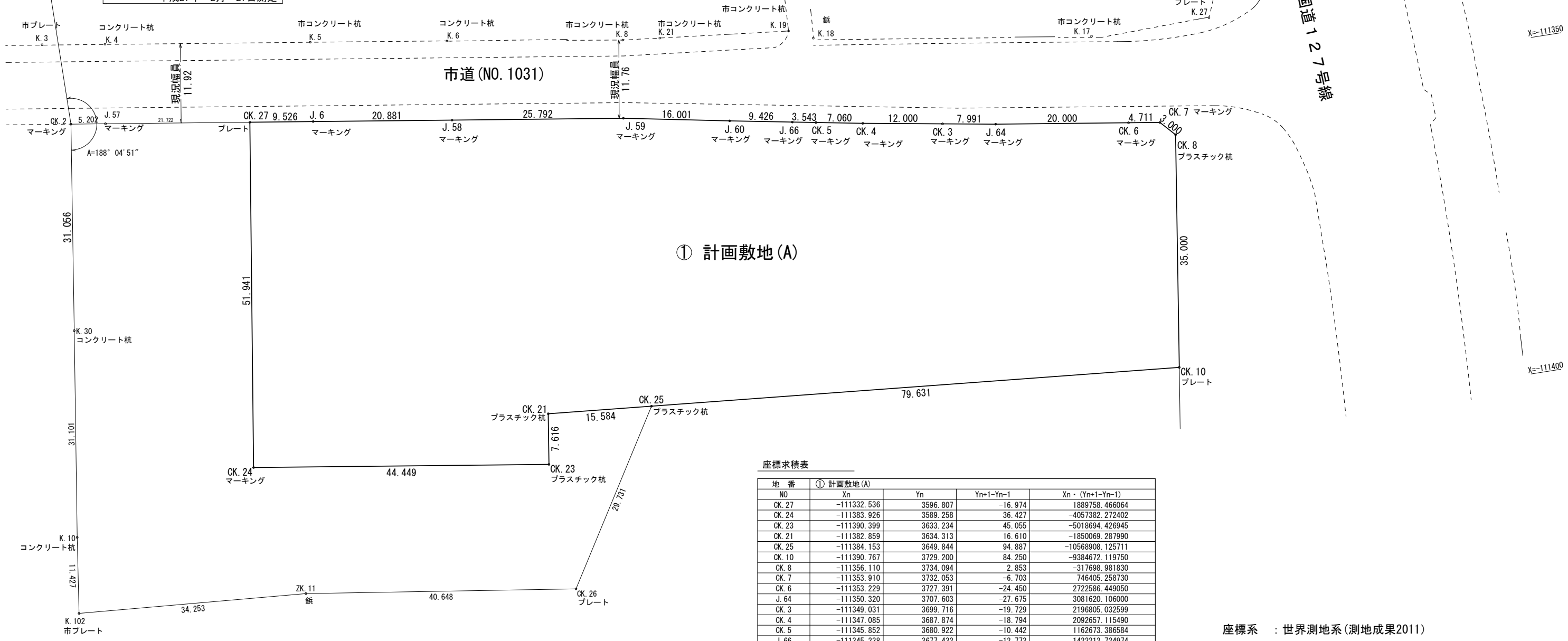
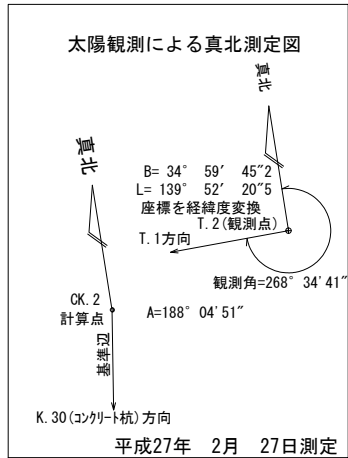
6 機械式継手	使用箇所 ・ 図示による () ・ H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2)	機械式継手の種類及び工法 (5.5.2) 鉄筋相互のあき (5.3.5) ・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1) 品質の確認方法 (5.5.2) ・ 図示による () 不良となった継手の修正方法等 (5.5.2) ・ 図示による ()	
	7 溶接継手		使用箇所 ・ 図示による () ・ H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.3) 鉄筋相互のあき (5.3.5) ・ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1) 継手の工法 (5.5.3) ・ 図示による () 品質の確認方法 (5.5.3) ・ 図示による () 不良となった継手の修正方法等 (5.5.3) ・ 図示による ()
⑧ 各部配筋	各部配筋 ○ 図示による (構造関係共通図 (配筋標準図))	⑨ 圧接完了後の試験	抜取試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験

⑥ コンクリート工事	① コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度 (6.2.1~4)	○ 普通コンクリート (6.2.1~4)	設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ	適用箇所
		○24	18	構造躯体	
		○21	15	土間コンクリート	
		○18	18	押えコンクリート、嵩上げコンクリート	
		○ 軽量コンクリート (6.2.1~3) (6.10.1, 2)	設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ	適用箇所
	② コンクリートの種類 (6.2.1)	類別 ※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)			
	③ セメント (6.3.1)	種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 使用部位 (全て) ・ 高炉セメントB種 () 使用部位 () ・ フライアッシュセメントB種 () 使用部位 ()			
	④ 骨材 (6.3.1)	アルカリシリカ反応性による区分 ※A - B			
	⑤ 混和材料 (6.3.1)	○ 混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(i)による ・ 混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(ii)による			
	⑧ 気乾単位容積質量 (6.2.3)	○ 普通コンクリート (6.2.3) ○ 2.3t/m ³ 程度 ・ 軽量コンクリート (6.10.1)			
7 軽量コンクリート (6.10.1)	種類 ・ 1種 ・ 2種 適用箇所 ・ 図示による ()				
8 寒中コンクリート (6.11.1)	適用期間 ・ 図示による () ・ 積算温度を基に定める場合 ・ 図示による ()				
⑨ 暑中コンクリート (6.12.2)	構造体強度補正値 (S) ※6N/mm ²				
10 マスコンクリート (6.2.1)(6.13.1)	適用箇所 ・ 図示による () セメントの種類 (6.13.2) ・ 中熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 () ・ フライアッシュセメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント 混和材料 (6.13.2) ・ 混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤 スラブ (6.13.2) ※15cm				

⑪ 無筋コンクリート (6.14.1)	設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スラブ (6.14.1) ※15cm 又は 18cm セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 () ・ フライアッシュセメントB種 () 適用箇所 (6.2.1)(6.14.1) ※標準仕様書6.14.1(a)による箇所 ・ 図示による ()
12 流動化コンクリート (6.2.1)(6.15.1)	適用箇所 ・ 図示による ()
⑬ ひび割れ誘発目地打継目地 (6.6.3)(6.8.2)(9.7.3)	目地寸法 (6.6.3)(6.8.2)(9.7.3) ・ 標準仕様書9.7.3による 間隔、位置、形状 (6.8.2) ・ 図示による ()
⑭ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.3)	合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ (6.2.5)(6.8.3)
⑮ 打増し厚さ (打直し仕上げ部) (6.8.2)	打直し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る) (6.8.2) ○ 20mm 打直し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る) (6.8.2) ○ 意匠図による
⑯ 型枠 (6.8.3)	せき板の材料及び厚さ (6.8.3) ○ 合板 (※12mm) () () ・ 断熱材の兼用した型枠材の使用 (6.8.3) ・ MCR工法用シート (6.8.3) 打増し厚さ ・ 20mm 打増し範囲 ・ 図示による () スリーブの材質 (6.8.3) ※標準仕様書6.8.3(i)(2)(i)から(iv)による
⑰ 鉄骨工事 (7.1.1)(7.1.3)	① 鉄骨製作工場 (7.1.1)(7.1.3) ※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国建築工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(・S・H・M・R・J)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 (7.1.1)(7.1.3) ② 施工管理技術者 (7.1.3.4) ※適用する ・ 適用しない (7.1.3.4)
⑱ 鋼材 (7.2.1)	材質等 (7.2.1)
⑲ 鋼材 (7.2.1)	種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格 ○ BCR295 柱 ○ 大臣認定品 ○ SM400B 大梁 ○ JIS規格による ○ SS400 小梁 ○ JIS規格による ○ SM490C ダイアフラム ○ JIS規格による ○ STKR400 間柱 ○ JIS規格による ○ SSC400 母屋、根太 ○ JIS規格による
⑳ 高力ボルト (7.2.2)	ボルトの区分 (7.2.2) ○ トルシア形高力ボルト セットの種類 ※2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト セットの種類 ※2種 (F10T) 高力ボルトの径 (7.2.2) ○ 図示による (S-029~030) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ○ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔) ・ すべり係数試験 (7.4.2) 試験方法等 ・ 図示による () ⑤ 普通ボルト (7.2.3) ボルト及びナットの種類 (7.2.3) ※標準仕様書7.2.3による 座金 (7.2.3) ○ 標準仕様書7.2.3(d)による ボルトの径 (7.2.3) ○ 図示による (S-029~030) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ○ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔) セットの種類 (7.2.2) ※1種 (F列相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.2) ○ 図示による (S-029~030) 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 (7.3.8) ○ 大臣認定を受けた内容による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ○ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔) 摩擦面の処理 (7.12.4) ○ プラスト処理 (表面粗度50 μm Rz 以上) ・ プラスト処理以外の特別な処理方法 ・ 図示による () すべり耐力等の確認方法 (7.12.4) ※すべり耐力試験 試験方法等 ○ 標準仕様書による
㉑ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2)	溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.2) ○ 図示による (S-029~030) 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 (7.3.8) ○ 大臣認定を受けた内容による
㉒ 高力ボルト (7.2.2)	ボルトの区分 (7.2.2) ○ トルシア形高力ボルト セットの種類 ※2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト セットの種類 ※2種 (F10T) 高力ボルトの径 (7.2.2) ○ 図示による (S-029~030) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ○ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔) ・ すべり係数試験 (7.4.2) 試験方法等 ・ 図示による () ⑤ 普通ボルト (7.2.3) ボルト及びナットの種類 (7.2.3) ※標準仕様書7.2.3による 座金 (7.2.3) ○ 標準仕様書7.2.3(d)による ボルトの径 (7.2.3) ○ 図示による (S-029~030) ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ○ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔) セットの種類 (7.2.2) ※1種 (F列相当) 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.2) ○ 図示による (S-029~030) 溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 (7.3.8) ○ 大臣認定を受けた内容による

㉓ アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)	適用 (7.2.4)(7.10.3) ○ 構造用アンカーボルト ・ 形状、寸法 ○ 図示による (S-029~030) ・ 建方用アンカーボルト 種類 - SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書表7.2.3による 形状、寸法 ・ 図示による () ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ○ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-1 縁端距離、ボルト間隔) ⑤ 溶接材料 (7.2.5) 溶接材料 (7.2.5) ○ 標準仕様書 7.2.5(a)(b)による ・ 図示による () ⑥ ターンバックル (7.2.6) 種類 (7.2.6) 建築用ターンバックル胴 ※割付式 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ねじの呼び (7.2.6) ○ 図示による (S-029) ⑩ デッキプレート (6.8.3)(7.2.7) 材質、形状及び寸法 (6.8.3)(7.2.7)
11 レール及びその付属品 (7.2.8)	・ デッキプレート屋橋の構造 適用箇所 材質・形状・寸法 備考 ○ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造 S-021 S-014 ○ 床型特用 S-021 S-013
⑫ 柱底均しモルタル (7.2.9)	鉄骨部材への溶接方法 (7.7.8) ○ 図示による (S-013, 014) 形状及び寸法等 (7.2.8) ・ 図示による () モルタルの種類 (7.2.9) ○ 無収縮モルタルの材料、調合等 無収縮モルタルの材料、調合等 材料、調合等 ※標準仕様書7.2.9(b)(1)から(4)による ・ 標準仕様書7.2.9(a)によるモルタル
⑬ 製作精度 (7.3.3)	※標準仕様書7.3.3及びH12建告第1464号第二号二による (7.3.3) H12建告第1464号第二号イ(1)(2)のただし書きによる補強は、「突合せ継手の食い違い口のずれの検査・補強マニュアル」による
14 鉄骨の仮組 (7.3.10)	仮組を行う範囲 (7.3.10) ・ 図示による ()
15 溶接技能者の技量付加試験 (7.6.3)	試験の要領 (7.6.3) ・ 図示による ()
⑭ 溶接接合 (7.6.4)	開先の形状 (7.6.4) ○ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-2) スカラップの形状 (7.6.7) ○ 図示による (構造関係共通図 (鉄骨標準図) 1-4) ○ エンドタブを切断する部分 (7.6.7) 適用箇所 ・ 図示による () ○ 見え掛かき部 エンドタブを切断する場合の仕上げは標準仕様書7.6.7(a)(6)(ii)による 溶接部の余盛り高さ (7.6.7) ○ JASS6付則6「鉄骨精度検査基準」付表3 [溶接] による 低応力系サイクル疲労を受ける部位 (7.6.7) ・ 図示による () 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.11) 工場溶接の場合 (7.6.11) AQL (%) ※4.0 ・ 2.5 部 ・ 全て ・ ・ ・ 検査水準 ※第6水準 ・ ・ ・ ・ 工事現場溶接の場合 (7.6.11) AQL (%) ※4.0 ・ 2.5 ⑮ 錆止め塗装 (7.8.3) 塗料の種類 (7.8.3) ○ 鉄鋼面の錆止め塗料 (7.8.3) 屋外 ※標準仕様書 表18.3.1 A種 ・ 屋内 ・ 標準仕様書 表18.3.1 () 種 ・ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 (7.8.3) ・ 標準仕様書 表18.3.2 A種 ・ ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) (7.8.3) ※標準仕様書 表18.3.1 A種 ・ ・ 耐火被覆材の接着する面への塗装 (7.8.3) ・ 塗装を行う 適用箇所 ・ 図示による () 塗料の種類 (7.8.3) ・ 標準仕様書 表18.3.1 () 種 ・ 標準仕様書 表18.3.2 () 種

⑲ 耐火被覆 (7.9.2~7)	種類 (7.9.2~7) 種類 種類 材料・工法 適用箇所 (部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ ・ ・ ・ 耐火板張り ・ 繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・ 耐火材巻付け ・ 高断熱ロックウール ・ ・ ラス張りモルタル塗り 材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする 性能 (7.9.2~7) 性能 適用箇所 (部位・部分) ・ 30分耐火 ・ 1時間耐火 ・ 2時間耐火 ・ 3時間耐火 ⑳ アンカーボルト等の設置 (7.10.3) 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状並びに寸法 (7.10.3) ○ 図示による (S-010, 011, S-030~031) 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.10.3) 種類 ○ A種 ○ B種 ○ C種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 (7.10.3) ※標準仕様書表7.10.2 (※A種 [厚さ50] ・ B種 [厚さ30]) による ㉑ 軽重形鋼構造 (7.11.2) ボルト接合方法 (7.11.2) ○ 設備関係 令第129条2の4の事項 ・ 建築物に設ける建築設備については、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。 ● 建築設備 (昇降機を除く)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。 ● 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。 ● 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けたものを除き、90cm 以下とすること。 □ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを 5cm 以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが 25cm 以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。 ● 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、 ● 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全な支障のない構造とすること。 ● 建築物の部分貫通して配管する場合に於いては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止の為の措置を講ずること。 ● 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合に於いて、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止の為の措置を講ずること。 ● 管を支持し、又は固定する場合に於いては、つり金物又は防震ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和の為の措置を講ずること。 ● 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。 ● エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されている事。 ● 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。 ● 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの 1/3 以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ 5cm 以上を原則とする。 ● 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全な支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全な支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。
------------------	---



座標求積表

地番	① 計画敷地(A)			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn · (Yn+1-Yn-1)
CK. 27	-111332.536	3596.807	-16.974	1889758.466064
CK. 24	-111383.926	3589.258	36.427	-4057382.272402
CK. 23	-111390.399	3633.234	45.055	-5018694.426945
CK. 21	-111382.859	3634.313	16.610	-1850069.287990
CK. 25	-111384.153	3649.844	94.887	-10568908.125711
CK. 10	-111390.767	3729.200	84.250	-9384672.119750
CK. 8	-111356.110	3734.094	2.853	-317698.981830
CK. 7	-111353.910	3732.053	-6.703	746405.258730
CK. 6	-111353.229	3727.391	-24.450	2722586.449050
J. 64	-111350.320	3707.603	-27.675	3081620.106000
CK. 3	-111349.031	3699.716	-19.729	2196805.032599
CK. 4	-111347.085	3687.874	-18.794	2092657.115490
CK. 5	-111345.852	3680.922	-10.442	1162673.386584
J. 66	-111345.238	3677.432	-12.773	1422212.724974
J. 60	-111343.597	3668.149	-25.022	2786039.484134
J. 59	-111340.711	3652.410	-41.259	4593806.395149
J. 58	-111336.969	3626.890	-46.178	5141318.554482
J. 6	-111333.921	3606.232	-30.083	3349258.345443
			合計	-12283.895929
			合計面積	6141.9479645
			地積	6,141.94 m ²

座標系 : 世界測地系(測地成果2011)

測量年月日	平成 27年 3月 24日
作成年月日	平成 27年 3月 24日
作成者	千葉県市川市新田五丁目4番4号 株式会社 国際技術コンサルタント

一級建築士事務所 東京都登録第4539号
株式会社 楠山設計
 東京都千代田区神田小川町三丁目20番地

意匠設計
磯部 力啓

構造設計
一級建築士登録第 228646号
磯部 力啓

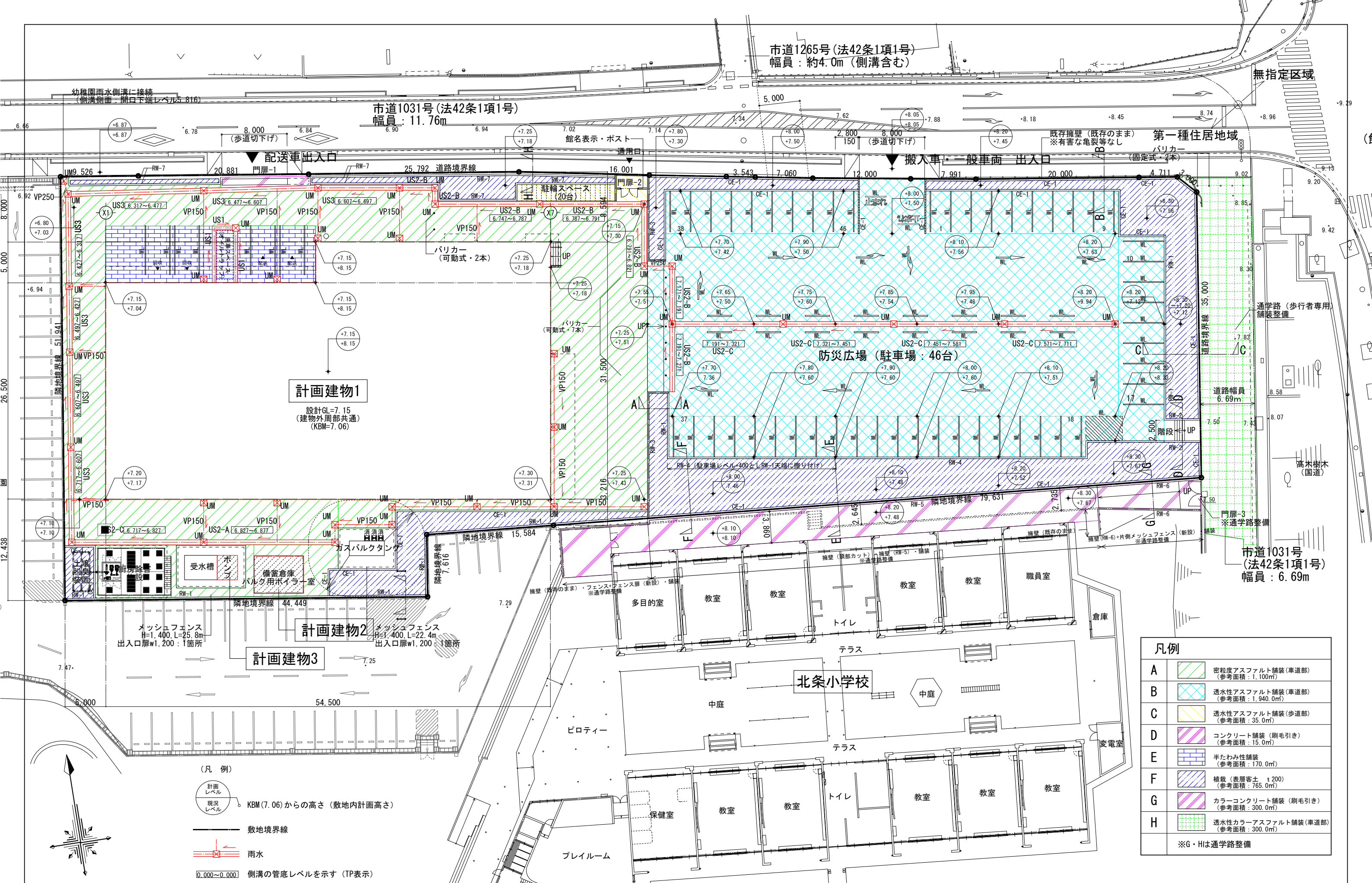
構造設計一級建築士登録第 6676号
飯屋 蘭 耕一
一級建築士登録第 271809号
飯屋 蘭 耕一

設備設計
一級建築士登録第 228646号
磯部 力啓

DATE	2017.12
SCALE	1/300

TITLE
館山市新学校給食センター建設工事
SUBTITLE
ガスバルクタンク設備 敷地求積図

SCALES
A1: 1/300
A3: A1×1/2
DRAWN NO.
設計図 意匠 A - 012



計画建物1

設計GL=7.15
(建物外周部共通)
(KBM=7.06)

計画建物2

メッシュフェンス
H=1,400, L=22.4m
出入口扉w1,200:1箇所

計画建物3

メッシュフェンス
H=1,400, L=25.8m
出入口扉w1,200:1箇所

凡例	
A	密粒度アスファルト舗装(車道部) (参考面積: 1,100m ²)
B	透水性アスファルト舗装(車道部) (参考面積: 1,940.0m ²)
C	透水性アスファルト舗装(歩道部) (参考面積: 35.0m ²)
D	コンクリート舗装(剛毛引き) (参考面積: 15.0m ²)
E	半たわみ性舗装 (参考面積: 170.0m ²)
F	補栽(表層客土 t200) (参考面積: 765.0m ²)
G	カラーコンクリート舗装(剛毛引き) (参考面積: 300.0m ²)
H	透水性カラーアスファルト舗装(車道部) (参考面積: 300.0m ²)
※G・Hは通学路整備	

- (凡例)
- 計画レベル
 - 現況レベル
 - KBM(7.06)からの高さ(敷地内計画高さ)
 - 敷地境界線
 - 雨水
 - 0.000~0.000 側溝の管底レベルを示す(TP表示)

一級建築士事務所 東京都登録第4539号
株式会社 楠山設計
 東京都千代田区神田小川町三丁目20番地

意匠設計 一級建築士登録第 228646号 談話室
 磯部 力 彦

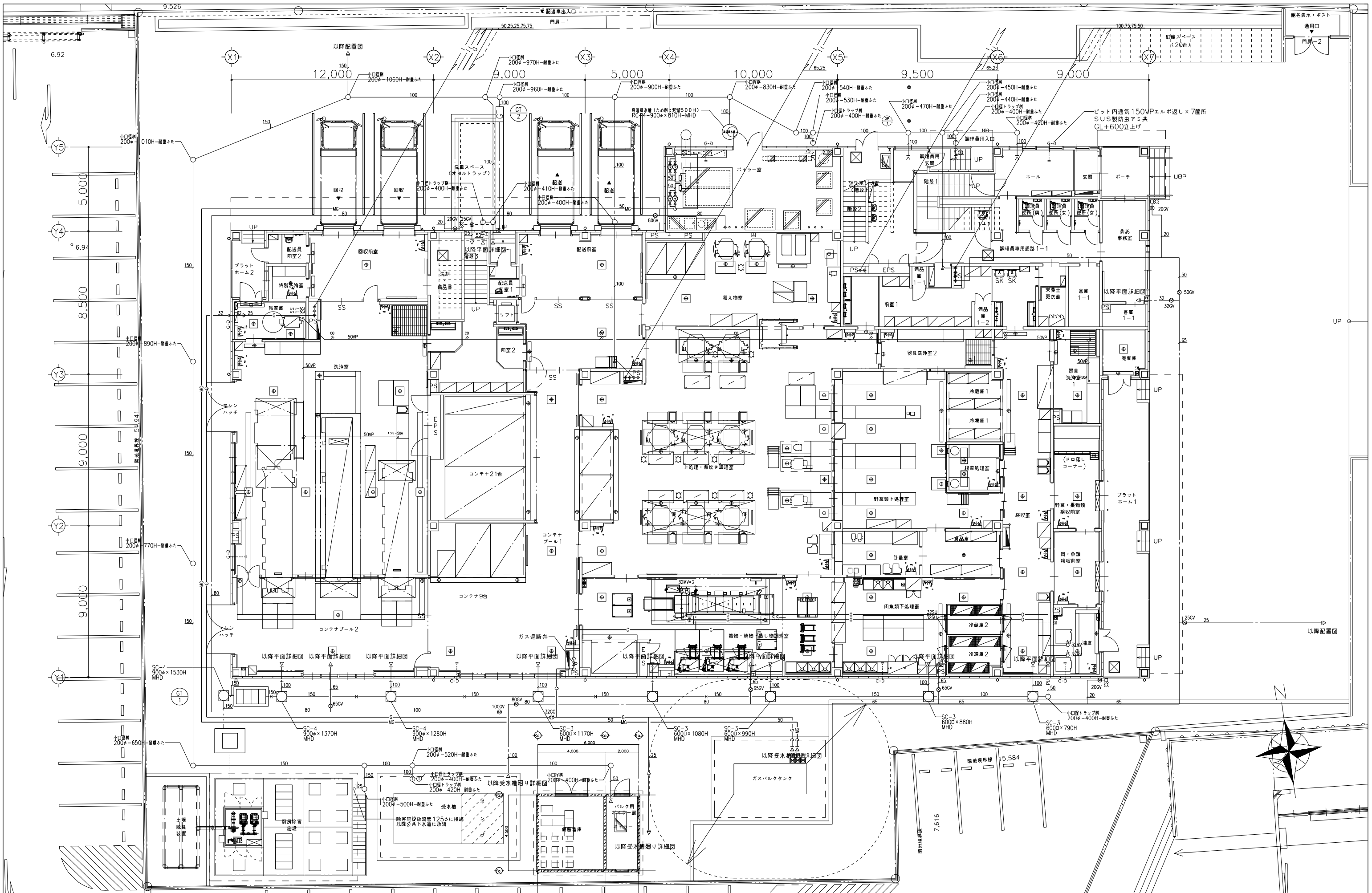
構造設計 一級建築士登録第 6676号
 飯屋 園 耕 一

設備設計 一級建築士登録第 228646号
 磯部 力 彦

DATE 2017.12
 TITLE 館山市新学校給食センター建設工事
 SUBTITLE ガスバルクタンク設備 外構平面図

SCALE A1: 1/200 A3: A1×1/2
 DRAWN NO. 設計図 意匠 A-013

○空気調和設備	① 設計温湿度	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>30.5℃</td> <td>76.7%</td> <td>26℃</td> <td>%</td> <td>25℃以下</td> <td>80%以下</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>12.7℃</td> <td>42.4%</td> <td>22℃</td> <td>%</td> <td>12.5℃以下</td> <td>80%以下</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏期湿度50%とする。</p> <p>※本工事・別途</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・しない 風量の測定・調整 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する ・しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない (1) 鉄板厚 (※3、2mm ・ 4、5mm) (2) はい壁濃度計 ※設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける (測定口は80Φとする) ・設けない</p>	外 気		屋 内				湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	30.5℃	76.7%	26℃	%	25℃以下	80%以下	冬 期	12.7℃	42.4%	22℃	%	12.5℃以下	80%以下	○換気設備	① 長方形ダクト ※低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ○アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ○ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)	○給水設備	① 配管材料 配管材料は下記による。	○消火設備	① 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・H1VP 消火用 一般配管※SGP (白) ・STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・H1VP 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・STPG370 (白) Sch80
	外 気		屋 内																															
	湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)																												
	夏 期	30.5℃	76.7%	26℃	%	25℃以下	80%以下																											
	冬 期	12.7℃	42.4%	22℃	%	12.5℃以下	80%以下																											
	② 総合運転調整	<p>※別途 ・本工事</p> <p>風量調整 ※する ・しない 水量調整 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・しない 風量の測定・調整 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する ・しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない (1) 鉄板厚 (※3、2mm ・ 4、5mm) (2) はい壁濃度計 ※設ける ・設けない (3) はいじん量測定口 ※設ける (測定口は80Φとする) ・設けない</p>	② 円形ダクト ③ 風量測定口 ④ チャンバー	② スパイラルダクト (※垂鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層換気管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト ○保温付 ・保温無) (注)1 使用区分は図示による。 取付箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト	② 一体形タンク	② 配管材料 配管材料は下記による。	② 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))																											
	③ 煙道	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	⑤ ダンパー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞りしないようにする。	③ 水 栓	③ 配管材料 配管材料は下記による。	③ ガス設備 ① 配管材料 都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂複層鋼管 ・SGP (白) 地中埋設 ※PE管																											
	④ 煙突	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	⑥ 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露が滞りする部分 ・) の排気ダクトには設ける	④ 量水器	④ 配管材料 配管材料は下記による。	④ ガス設備 ② ガス漏れ警報遮断装置 漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。																											
	⑤ 長方形ダクト	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	⑦ 保 温	下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換用の暖べい部ダクト 仕様はN・(ロ)・X1とする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 ※(※厨房 ・湯沸室 ・) 用の隠蔽べい部ダクト (仕様はh・(イ) ・Xとし範囲は図示による)	⑤ 量水器	⑤ 配管材料 配管材料は下記による。	⑤ ガス設備 ③ 液化石油ガスの供給管 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																											
	⑥ 円形ダクト	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	⑧ 試運転調整	<p>風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない</p>	⑥ 弁 類	⑥ 配管材料 配管材料は下記による。	⑥ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に壁面に取り付けよう。																											
⑦ 風量測定口	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○標準設備	1 ダクト ※垂鉛鉄板 ・ 2 排気口の形式 ※天井取付 (・スリット形 ※スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形) 3 排気口手動開放装置 開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・電気式 (遠隔操作 ・不要 ・要) 4 排気風量測定 建築設備定期検査業務基準書 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排気風量の検査方法に準ずる。	⑦ 水 栓 柱	⑦ 配管材料 配管材料は下記による。	⑦ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑧ チャンバー	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○自動制御	① 中央監視制御装置 ○有り ※無し ② 構成・機能 図示による ③ 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り全風管配線とする。 天井内暖べい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。	⑧ 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ○標準図施工4 (・ (a) ・ (b) ・ (c))	⑧ 配管材料 配管材料は下記による。	⑧ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑨ 吹出口及び吸込口ボックス	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○衛生器具設備	① 小便器用節水装置 JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。 ② バリヤーフリー対応 ※小便器 ※全部分別形手すり (・本工事 ・別途工事) ○洗面器 ※自動水栓 (○全部 ※一部) ・レバー式水栓 (一部) ・シャワー ※サーモスタック式 ・ミキシング式 ※スライドバー ・フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ※600×800 (耐食鏡) ・防錆鏡 (・照明無 ・照明付) ③ 衛生器具付風呂水栓 (1) 器具付風呂水栓は ※ドライバー式 ○ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。 ④ 自動水栓類の電源 ※AC100V ・乾電池等 ⑤ 暖房便座 (1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・温風乾燥 ・トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ○貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 ⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 器具又は下記の場合を除き、※節水Ⅰ型・節水Ⅱ型とする。 ・洗浄弁操作方式は、※手動式・電気開閉式 (※センサー式・タッチスイッチ式) ・ () 部分で使用する大便器洗浄弁は低圧形とする。 7 大便器耐火カバー ※設ける (ピット内は除く) ・設けない ⑧ 掃除流し ※共栓なしとする。 ・共栓付とする。 ⑨ 排水器具用ゴミ取手 ※使用できる ・使用できない ⑩ 標 記 板 大便器、小便器の洗浄用雨水等を利用している場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。 ⑪ 水せつけん入れ せつけん供給栓等がない場合は、洗面器、手洗器に必ず設ける。 ⑫ 騒音装置 ・女子用トイレブースに設置する。(※本工事 ・別途工事) ⑬ そ の 他 衛生設備器具の適用等の必要ないことは別途衛生設備器具表による。	⑧ 洗面器等の排水水	⑧ 配管材料 配管材料は下記による。	⑧ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑩ ダンパー	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○配管材料	① 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ② 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ③ プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ・保温機能付空調用ドレン管 (100AC100相当品) (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 脚気管、空気抜き管及び脚気タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・	⑨ 水 栓 柱	⑨ 配管材料 配管材料は下記による。	⑨ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑪ 配管材料	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○配管材料	① 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ② 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ③ プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ・保温機能付空調用ドレン管 (100AC100相当品) (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 脚気管、空気抜き管及び脚気タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・	⑩ 量水器	⑩ 配管材料 配管材料は下記による。	⑩ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑫ 弁 類	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○配管材料	① 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ② 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ③ プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ・保温機能付空調用ドレン管 (100AC100相当品) (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 脚気管、空気抜き管及び脚気タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・	⑪ 弁 類	⑪ 配管材料 配管材料は下記による。	⑪ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑬ 温度計	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○配管材料	① 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ② 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ③ プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ・保温機能付空調用ドレン管 (100AC100相当品) (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 脚気管、空気抜き管及び脚気タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・	⑫ 水 栓 柱	⑫ 配管材料 配管材料は下記による。	⑫ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑭ 圧力計	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○配管材料	① 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ② 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ③ プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ・保温機能付空調用ドレン管 (100AC100相当品) (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 脚気管、空気抜き管及び脚気タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・	⑬ 水 栓 柱	⑬ 配管材料 配管材料は下記による。	⑬ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑮ 瞬間流量計	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○配管材料	① 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ② 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ③ プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ・保温機能付空調用ドレン管 (100AC100相当品) (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 脚気管、空気抜き管及び脚気タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・	⑭ 水 栓 柱	⑭ 配管材料 配管材料は下記による。	⑭ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑯ 油面制御装置	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○配管材料	① 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ② 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ③ プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ・保温機能付空調用ドレン管 (100AC100相当品) (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 脚気管、空気抜き管及び脚気タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・	⑮ 水 栓 柱	⑮ 配管材料 配管材料は下記による。	⑮ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑰ 冷却塔	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○配管材料	① 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ② 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ③ プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ・保温機能付空調用ドレン管 (100AC100相当品) (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 脚気管、空気抜き管及び脚気タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・	⑯ 水 栓 柱	⑯ 配管材料 配管材料は下記による。	⑯ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												
⑱ 空気熱源ヒートポンプ空調機	<p>※別途 ・本工事</p> <p>低圧ダクト (垂鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 (図示された部分) それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (垂鉛鉄板製) ・高圧2ダクト (垂鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト (・A区分 ※B区分) ・電ビ製ダクト (・A区分 ※B区分)</p>	○配管材料	① 冷水水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ② 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ ③ プライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ ④ 冷媒管 ※断熱被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上) ⑤ ドレン管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○硬質塩化ビニル管VP ・保温機能付空調用ドレン管 (100AC100相当品) (消防協議事項:) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 脚気管、空気抜き管及び脚気タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・	⑰ 水 栓 柱	⑰ 配管材料 配管材料は下記による。	⑰ ガス設備 ③ 安全装置の機能の適用 標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.6安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																												



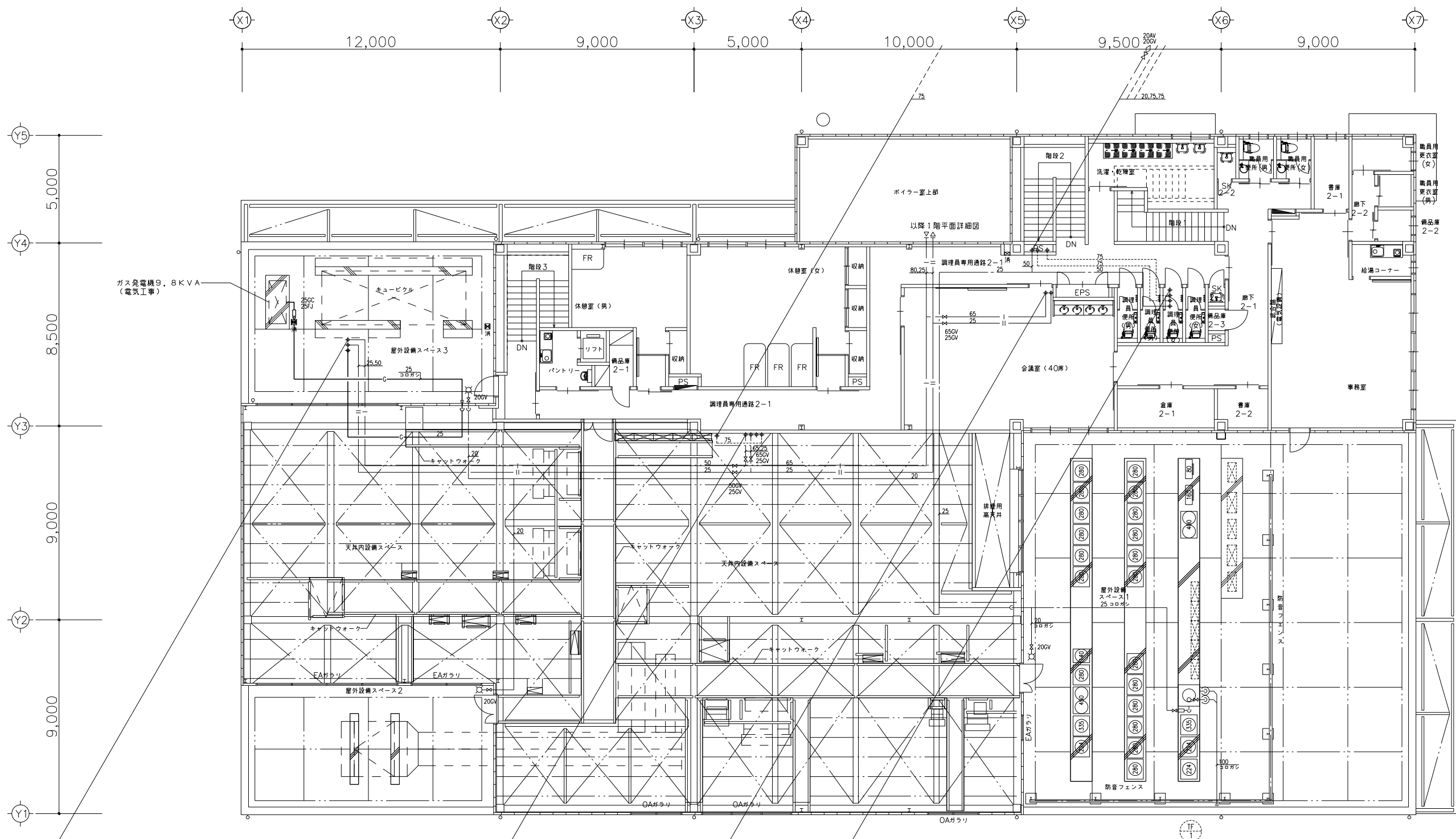
一級建築士事務所 東京都登録第4539号
株式会社 楠山設計
 東京都千代田区神田小川町三丁目20番地

意匠設計
 一級建築士登録第 228646 号
 磯部 力 啓

構造設計
 構造設計一級建築士登録第 6676 号
 仮屋 園 耕 一
 一級建築士登録第 271669 号
 仮屋 園 耕 一

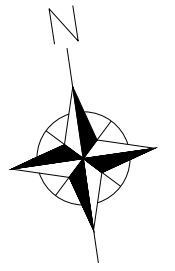
設備設計
 一級建築士登録第 228646 号
 磯部 力 啓

DATE	2017.11	TITLE	館山市新学校給食センター建設工事
		SUBTITLE	ガスバルクタンク設備 1階平面図
		SCALE	A1: 1/100 A3: 1/200
		DRAWN NO.	設計図 機械 G - 04



TF-1

名称	口径	数量	備考
GV	25	1	
FJ	25	1	可とう
BT	25	1	
GV	25	1	水抜
樓梯排水口	150×50	2	SUS防虫アミ



一級建築士事務所 東京都登録第4539号
株式会社 楠山設計
 東京都千代田区神田小川町三丁目20番地

意匠設計
 一級建築士登録第 228646 号
 磯部 力 啓

構造設計
 構造設計一級建築士登録第 6676 号
 飯屋 園 耕 一
 一級建築士登録第 271669 号
 飯屋 園 耕 一

設備設計
 一級建築士登録第 228646 号
 磯部 力 啓

DATE
 2017.11

TITLE
館山市新学校給食センター建設工事
 SUBTITLE
ガスバルクタンク設備 2階平面図

SCALE
 A1: 1/100
 A3: 1/200

DRAWN NO.
 設計図 機械 G - 05

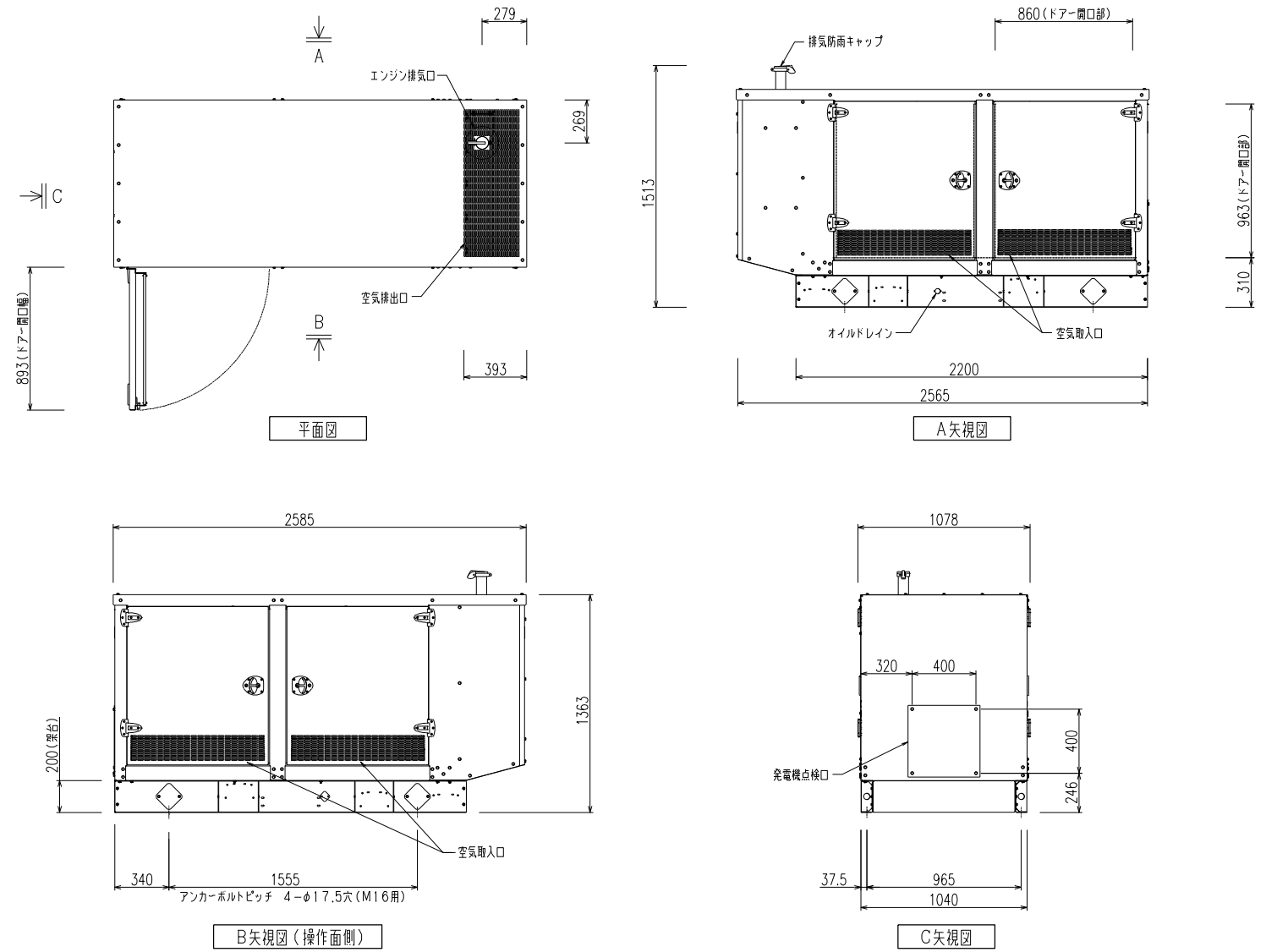
要目表

発電機	形式	回転界磁形同期発電機	エンジン	形式	立形水冷4サイクルガス機関
	容量	9.8kVA		定格出力	25kW
	電圧	100/200V		回転速度	1500min ⁻¹
	電流	49A		総排気量	3.0L
	周波数	50Hz		冷却方式	ラジエータ方式
	回転速度	1500min ⁻¹		冷却水量	21.7L
	相数	1		始動方式	セルモータによる電気始動
	極数	4		使用燃料種類	LPガス
	力率	100%		燃料消費量	2.0 m ³ /h
	励磁方法	ブラシレス方式		燃料供給圧力	1.7-2.7 kPa
保護方式	開放形 (IP00)	シリンダ数	4		
冷却方式	自由通流形 (IC01)	内径×行程	101.6×91.4mm		
点火方式	CDI方式	ラジエータファン風量	113 m ³ /min		
バッテリー容量	DC12V-40Ah	潤滑油量	4.1L		
乾燥質量	860kg				

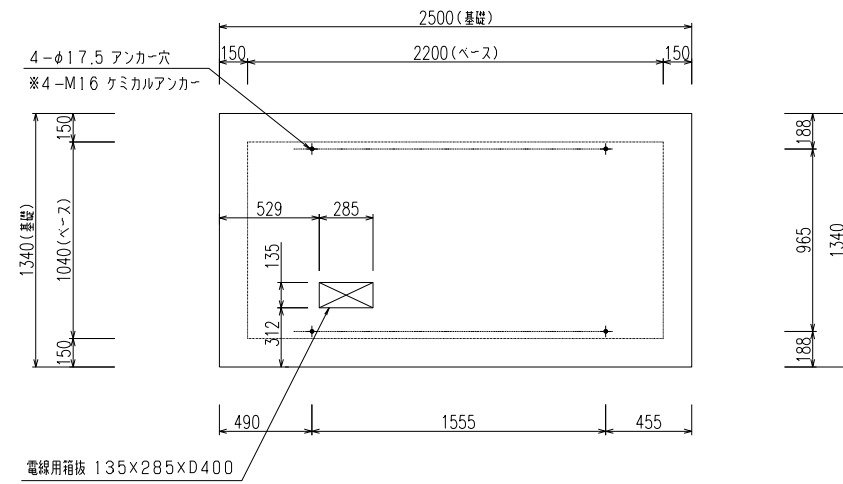
※ 4方向エネルギー平均 機側1m、高さ1.2m 半自由音場下ニヨル
 ※予備品: 消火器 (ABC10型1本)、及び格納箱 (屋外用・SUS)

保護装置一覧表

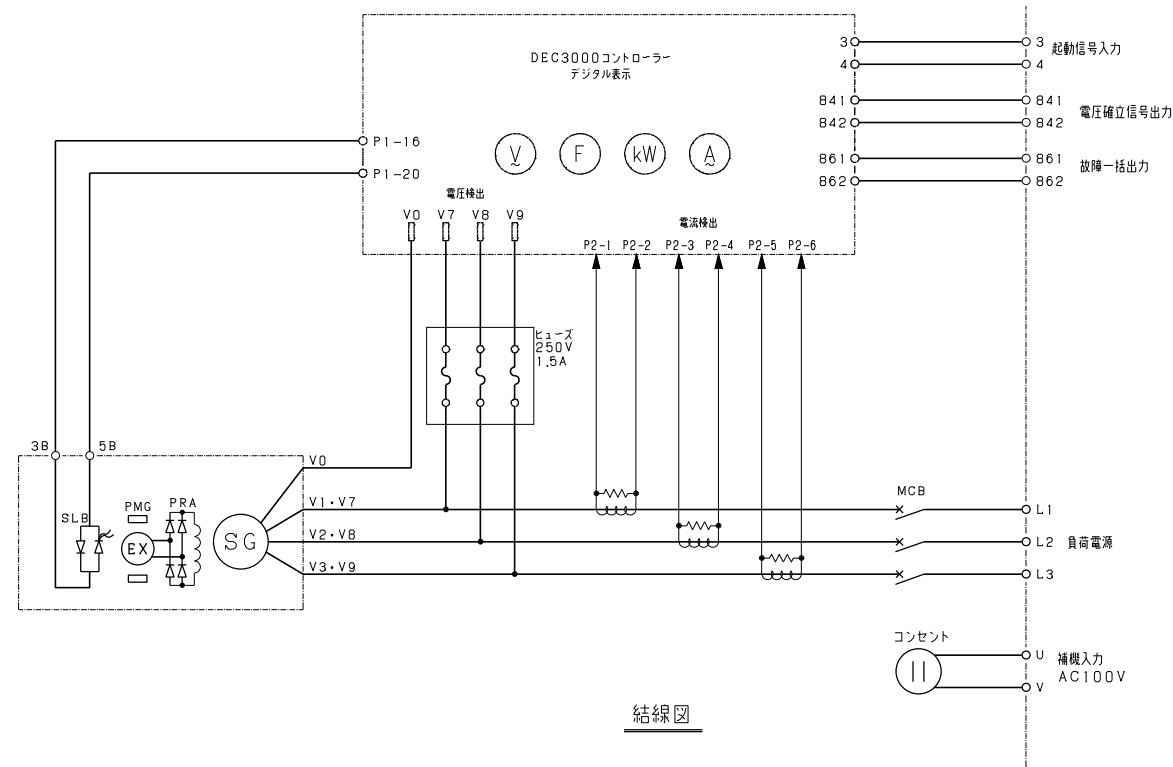
項目	機関停止	警報	ディスプレイ表示
潤滑油圧力低下	○	○	○
冷却水温度上昇	○	○	○
不足周波数	○	○	○
起動渋滞	○	○	○
過負荷	○	○	×
緊急停止	○	○	○



発電設備外形図 (S=1/40)



基礎及び電線立上がり位置図 (S=1/40)



結線図